



第5号様式 (第5条)

政務活動費収支報告書

平成31年3月26日

印西市議会議長 藤代武雄様

会派名	創進
代表者氏名	酢崎義行
経理責任者氏名	増田葉子



平成30年4月17日付け印西総指令第52号で交付決定のあった政務活動費について、印西市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により下記書類を添えて報告します。

記

添付書類

- 1 政務活動費収支内訳書
- 2 政務活動費実施報告書

政務活動費収支内訳書

会 派 名 創 進

代表者氏名 酢 崎 義 行

経理責任者氏名 増 田 葉 子

1 収支実績

収 入 A	支 出 B	差 引 A-B
1,800,000 円	1,017,121 円	782,879 円

2 収支内訳

(1) 収入

項 目	内 容	金 額 (円)
政務調査費	30,000円 x 12月 x 5人	1,800,000
合 計		1,800,000

(2) 支出

項 目	内 容	金 額 (円)
調査研究費	研修視察・先進地視察に関する経費	390,416
研修費	会派又は外部主催の研修会経費	4,266
広報費	会派議会報告チラシ印刷・新聞折込料	565,358
広聴費	電話、インターネット回線使用料	49,161
資料作成費	パソコンリース代、写真代、コピー代	6,620
資料購入費	参考図書代	1,300
人件費	賃金、振込料	0
合 計		1,017,121

備考

- 1 使途基準の使途項目ごとに分類すること
- 2 領収書を添付すること

会 計 帳 簿

月日	区分	費目	収入金額	支出金額	差引残額	備考
2018/4/18	広聴費	会場費		1,280	-1,280	会場予約
2018/4/25	収入		1,800,000		1,798,720	政務活動費
2018/5/7	広聴費	通信運搬費		41,000	1,757,720	
2018/5/9	調査研究費	交通費		56,560	1,701,160	
2018/5/10	調査研究費	交通費		2,760	1,698,400	
2018/5/11	調査研究費	交通費		70,160	1,628,240	
2018/5/11	調査研究費	旅費		130,000	1,498,240	
2018/5/11	調査研究費	資料代等		10,000	1,488,240	
2018/5/20	広聴費	資料作成費		1,000	1,487,240	
2018/5/20	広聴費	茶菓子代		786	1,486,454	
2018/6/9	研修費	交通費		1,866	1,484,588	
2018/6/18	資料購入費	参考図書代		800	1,483,788	
2018/6/18	資料購入費	参考図書代		500	1,483,288	
2018/6/21	資料作成費	印刷製本費		900	1,482,388	
2018/6/28	調査研究費	振込料		216	1,482,172	
2018/7/2	広報費	振込料		216	1,481,956	
2018/7/2	広報費	広報費		282,463	1,199,493	
2018/7/13	広聴費	会場費		600	1,198,893	
2018/8/6	調査研究費	旅費		65,000	1,133,893	
2018/8/6	調査研究費	交通費		9,860	1,124,033	
2018/8/6	調査研究費	交通費		2,760	1,121,273	
2018/8/7	調査研究費	交通費		39,760	1,081,513	
2018/8/7	調査研究費	交通費		3,340	1,078,173	
2018/8/18	広聴費	資料作成費		960	1,077,213	
2018/8/19	広聴費	茶菓子代		511	1,076,702	
2018/9/27	資料作成費	印刷製本費		460	1,076,242	
2018/10/16	広聴費	会場費		630	1,075,612	
2018/11/16	広聴費	資料作成費		305	1,075,307	
2018/11/16	広聴費	茶菓子代		298	1,075,009	
2018/11/20	広報費	振込料		216	1,074,793	
2018/11/20	広報費	広報費		282,463	792,330	
2018/11/23	資料作成費	消耗品		1,994	790,336	
2018/12/3	資料作成費	消耗品		3,206	787,130	
2018/12/21	資料作成費	印刷製本費		60	787,070	
2018/12/24	研修費	交通費		400	786,670	
2018/12/24	研修費	会費		2,000	784,670	
2018/12/26	広聴費	会場費		1,040	783,630	
2019/2/1	広聴費	資料作成費		200	783,430	
2019/2/2	広聴費	茶菓子代		551	782,879	

政務活動費事業実施報告書

会派名： 創 進
 代表者氏名： 酢 崎 義 行

件 名		
1 調査研究費		
内 容		
1 交通費	185,200 円	
2 旅費	195,000 円	
3 報償費	0 円	
4 会場費	0 円	
5 機材使用料	0 円	
6 調査委託費	0 円	
7 資料代等	10,000 円	
8 振込料	216 円	
	計	390,416 円 /
1 先進都市視察研修		
		参加者
第1回 交通費	129,480	5名全員
旅費(宿泊費)	130,000	5名全員
行政視察負担金	10,000	5名全員
第2回 交通費	55,720	5名全員
旅費(宿泊費)	65,000	
	計	390,200 円
2 行程		
各報告書に添付		

政務活動費収支明細

使途項目：調査研究費

会派名：創進

領収番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
101	平成30年5月9日	京成電鉄、JR	電車代(支出証明書)	交通費	56,560
102	平成30年5月10日	豊橋交通	タクシー代(支出証明書)	交通費	2,760
103	平成30年5月11日	京成電鉄、JR	電車代(支出証明書)	交通費	70,160
104	平成30年5月11日	ホテルアソシア豊橋	宿泊費	旅費	130,000
105	平成30年5月11日	桑名市	行政視察負担金	資料代等	10,000
106	平成30年6月28日	千葉銀行	振込料(ホテル予約金)	振込料	216
107	平成30年8月6日	グランドホテル神奈中	宿泊代 13,000円x5人	旅費	65,000
108	平成30年8月6日	京成電鉄他	電車代(支出証明書)	交通費	9,660
109	平成30年8月6日	秦野タクシー	タクシー代(支出証明書)	交通費	2,760
小計					347,316

政務活動費収支明細

使途項目：調査研究費

会派名：創進

領収番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
110	平成30年8月7日	JR他	電車代(支出証明書)	交通費	39,760
111	平成30年8月7日	ホンダタクシー	タクシー代(支出証明書)	交通費	3,340
					0
					0
					0
					0
					0
					0
小計					43,100
計					390,416

<別紙>

会派 創進 視察研修行程

月	日	曜	場所	時刻	交通手段	金額		備考			
						単価	合計				
5	9	水	印旛日医大	発 9:45	京成線アクセス特急、 都営地下鉄、JR	2,080	6,240	3人			
			千葉NT中央	発 9:51		2,010		4,020	2人		
			高尾駅	着 11:28	八王子市公用車			浅草-浅草橋-御茶ノ水			
				発 12:30							
			八王子市役所 (カフェかじやしき)	着 13:00	視察研修:介護予防・日常生活支援総合事業について						
				自 13:00 至 15:00							
			高尾駅	発 15:00	八王子市公用車						
				着 15:20							
			新横浜	発 15:31	JR中央線・横浜線	5,400	27,000	5人(乗車券 高尾-豊橋) 八王子経由			
				着 16:31							
			豊橋駅	発 16:52	新幹線 ひかり521号	3,860	19,300	5人(指定席 新横-豊橋)			
				着 17:57							
			ホテル宿泊	発 18:10	徒歩						
				着 18:20							
5	10	木	ホテル宿泊	発 9:30	ホテルアソシア豊橋 〒440-0075 愛知県, 豊橋市, 花田町西宿無番地 0532-57-1037	13,000	65,000				
			豊橋市役所	着 9:50	タクシー	690	1,380	*2台			
				自 10:00 至 15:00	視察研修:PFI事業の取り組みについて						
			ホテル宿泊	発 16:00	タクシー	690	1,380	*2台			
				着 16:20	ホテルアソシア豊橋						
			5	11	金	ホテル宿泊	発 9:30		13,000	65,000	
						豊橋駅	着 9:50	徒歩			
							発 10:02	JR東海道本線、 関西本線	1,660	8,300	
						桑名駅	着 11:29	徒歩			名古屋経由
							発 12:30				
						桑名市役所	着 12:50	視察研修:図書館 PFI 運営事業について			
							自 13:00 至 15:00				
						桑名駅	発 15:10	徒歩			
							着 15:30				
名古屋	発 15:54	JR関西本線				6,480	32,400	5人(乗車券 桑名-東京区)			
	着 16:26										
東京駅	発 18:39	新幹線のぞみ380号				4,830	24,150	5人(指定席 名古屋-東京)			
	着 18:20										
千葉NT中央	発 18:33	JR京成線アクセス特急						日暮里経由			
	着 19:25										
印旛日医大	着 19:31		1,020	2,040	2人						
			1,090	3,270	3人						
計							259,480				

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領収書
RECEIPT

232515

HOTEL ASSOCIA
LOYD MASHI

2018年 5月 11日

印西市議会会派 倉田 様

¥ 130,000-

内訳
 現金
 クレジットカード

但し 前日付にて(倉田代領) 130,000円の領収書等
上記のとおり正に領収しました。

ホテルアソシア豊橋
440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿 電話(0532)57-1010

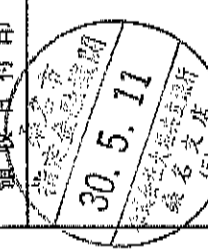
収入印紙

担当者印

ご注意:担当者印のないもの、金額を訂正したものは無効とします。

納付書兼領収書

桑名市 24-205

〒 270-1396 住所 千葉県印西市大森2364-2 印西市議会 会派 倉田 様				
年度	伝票番号	予算	会計	所属
30	00004105	0	01	360100
款 項	目 節	01 議会費収入		
20	04 02 細節	06 行政規程負担金		
金額	10,000 円			
所 管 課	議会事務局			
摘要	行政規程負担金(5名)			
発行日	平成30年 5月 10日			
上記金額を納入します。				
領収日付印 				
上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関				

※領収日付印のないものは無効です。

(納入者保管)

桑名市 24-205

※複製の領収書等を張る場合は、原にならないように添付してください。

支出証明書

1 支払金額 56,560 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年5月9日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	/
内 訳	視察交通費 印旛日医大—高尾 2,080x3人=6,240円 千葉ニュータウン中央駅—高尾 2010x2人=4,020円 高尾駅—新横浜(ひかり521号)—豊橋 (5,400円+3860円)x5人=46,300円			
理 由	5/9—5/11会派視察研修交通費(5/9分)			
債 権 者	京成電鉄 JR東日本 JR東海			

支出証明書

1 支払金額

2,760 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年5月10日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	視察交通費 豊橋駅ー豊橋市役所往復タクシー代 690x2台x2(往復)=2,760円 /			
理 由	5/9ー5/11会派視察研修交通費(5/10分)			
債 権 者	豊橋交通			

支出証明書

1 支払金額

70,160 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年5月11日

会派名 創進

代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	視察交通費 豊橋駅-桑名駅 1,660x5人=8,300円 桑名駅-名古屋駅(のぞみ380号)-東京駅(6,480円+4,830円)x5人=56,550円/ 日暮里-千葉ニュータウン中央駅 1,020x2人=2,040円/ 日暮里-印旛日医大駅 1,090x3人=3,270円 /			
理 由	5/9-5/11会派視察研修交通費(5/11分)			
債 権 者	JR東海 京成電鉄			

政務活動費事業実施報告書

会 派 名 創 進
 代 表 者 氏 名 酢崎 義行



件 名	先進地視察①		
	介護予防・日常生活総合支援事業について		
内 容			
	実施日	5月 9日 13時～15時	
	視察場所	東京都八王子市	
説明者			
	八王子市	福祉部	高齢者福祉課長 野田 明美
	八王子市		高齢者福祉課 辻野 文彦
	八王子市		森山 慶祐
	八王子市保険生活協同組合	代表理事	大久保孝彦
		在宅事業部 部長	黒澤秀幸、課長 金子加代子
			理事 椎野詠子 (Cafeかじやしき)
	NPO法人 八王子市民活動協議会	政策研究部長	堀内 進一
参加者	酢崎義行、増田葉子、松尾栄子、桜井正夫、小川利彦		
成 果	別紙		
写 真			

東京都八王子市

■空き家を活用した介護予防の新しい総合事業

要支援1と2の通所介護と訪問介護が保険給付から外され、今年度から市の事業に完全移行されました。市町村が事業費を補助し、市民の有償ボランティアが担っていく仕組みですが、印西市では今のところ具体的な動きは聞こえてきません。

八王子市では、すでに、福祉事業者＋市民による取り組みが昨年からは始まっており、高尾山のふもとの拠点「café かじやしき」を視察研修させていただいた。近所の高齢者の通所施設として、月、水、金の週3日開所し、月200人の高齢者を受け入れる。運営にあたるボランティア市民のパワーに感心させられるとともに、担い手の介護予防にもあたるという解釈で、介護予防加算を上乗せするなど、市の支援体制にも学ぶべき点が多い。

■市民活動協議会が資源調査

こうした市民パワー情報を、WAM（医療福祉機構）の公益助成で「生き生きハンドブック」としてまとめた、NPO法人市民活動協議会の取り組みについても、お話しを聞いた。

新しい総合事業を推進するにあたって、「地域にどんな福祉の資源があるのか分からない」という素朴な議論から、資源調査と冊子の作成を事業化した。

市民活動協議会は、市民活動団体の中間支援の活動しており、期せずして、「生活支援コーディネーター」の役割を担っている。「生活支援コーディネーター」は、新しい総合事業のなかで、地域にどんな資源があるのか、発掘・育成・コーディネートする役目。

印西市は現在、生活支援コーディネーターの配置はたった2名。広い市域で展開される活動を網羅できていない。八王子市のような進め方も手法の一つとして興味深かった。

政務活動費事業実施報告書

会 派 名 創 進

代 表 者 氏 名 酢 崎 義 行



件 名	先進地視察②		
	PFI事業の取組みについて		
内 容			
	実施日 5月10日 10時～15時		
	視察場所 愛知県豊橋市		
説明者	①バイオマス資源利活用施設(10時～12時)		
	豊橋市上下水道局 下水道施設課 主幹	藤井信芳	
	豊橋市上下水道局 下水道施設課 専任主査	片山浩樹	
	豊橋市議会事務局	議事課	鈴木真太郎
	②芸術文化施設(13時～15時)		
	豊橋市文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課	玉澤大輝	
		石黒亮介	
	穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作部	芸術文化プロデューサー	矢作勝義
参加者	酢崎義行、増田葉子、松尾栄子、桜井正夫、小川利彦		
成 果			
	別紙		
写 真			

○ PFI 事業の取組みについて

豊橋市では、「豊橋市 PPP/PFI 手法導入優先的検討方針」を定め、目安として設計と施設建設費が概ね 10 億円以上の事業においては、必ず PFI 事業としたときの検討をすることにしている。また、10 億円以下でも PFI で実施することにより経済的効率性や品質向上が期待される場合は、検討の対象としている。

同市では、これまで余熱利用施設、保健センター、学校給食調理場等において PFI を活用して事業を行っているが、今回は「バイオマス資源利活用施設整備・運用事業」と「芸術文化交流施設整備等事業」を視察した。

2 施設を視察し、印西市の今後の様々な施設整備にも PFI の導入を検討すべきと思われたが、PFI 方式を採用することで、国・県の補助金に影響を与えること等難しい問題も抱えている。

・バイオマス資源利活用施設整備・運用事業

豊橋市バイオマス利活用センターでは、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを発酵させ、バイオガスを生成し、そのガスを燃料に発電（バイオガス発電／再生可能エネルギー）している。また、発行後の汚泥は炭化燃料に加工し、全てを熱エネルギーとして利用している。この仕組み自体も興味深いものであったが、今回はこの事業を PFI 事業として実施していることに注目して視察した。事業は、設計・建設後 20 年間の維持管理・運営を行う BTO 方式が採用されていた。

導入成果は、事業可能性評価時点では VFM5.4%に対し、優先交渉事業者決定時には事業者の提案（空地を有効利用した太陽光発電事業）もあって、VFM55.0%となり、財政負担の軽減は 20 年間で約 120 億円になる見込みとのことである。

・芸術文化交流施設整備等事業

本施設は、良質な劇場環境を整えた主ホールを中心とした芸術文化交流複合施設で PFI を導入し、設計・建設 15 年間の維持管理を BTO 方式で行っている。また、施設運営は指定管理制度を活用している。導入効果は、財政負担軽減として、落札者提案書では VFM7.5%となっている。また、維持管理も含まれているため財政負担の平準化も担保されている。

<参考>

PFI（Private-Finance-Initiative／プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）とは、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営等に民間の資金や経営能力・技術力（ノウハウ）を活用することにより、より少ない財政支出で質の高い公共サービスの提供を図り、財政支出の平準化も期待できる手法です。PFI では、費用対効果の観点から公共資金の利用価値を最大化しようとする VFM（Value For Money／バリュー・フォー・マネー）の考え方が基本となっています。

PFI は、官民が協同して、効率的かつ効果的に質の高い公共サービス提供を実現するという PPP（Public-Private-Partnership：官民の連携）の概念から来るもので、その手法の一つです。わが国では、平成 11 年 7 月に PFI 法が制定され、この法律に準拠した PFI 事業が実施できるようになった。その後、PFI 事業の実施に関する基本方針が告示され、PFI に関するガイドラインが順次公表されている。

印西市議会会派「創造」行政視察 調査事項及び回答

【調査事項】PFI事業の取り組みについて（芸術文化施設）

施設名「穂の国とよはし芸術劇場PLAT」

番号	質問事項	回答
1	PFI活用の経緯は。	豊橋市では、平成14年に豊橋市PFI基本指針を定めPFI手法の活用を推進してまいりました。本施設建設以前にも、保健所、給食調理場、余熱利用施設にPFIを活用した実績がありました。本施設の建設では、事業費が大きくなることが予想されていたため、PFI手法の活用が検討されました。
2	PFI導入の議論は、どのような組織体制で行われているのか。	平成17年度：庁内会議及び市長指示により、PFI手法による整備を決定。（当時の組織体制は不明です。） 平成19年度：PFI導入可能性調査を実施。（BTO方式、期間15年、範囲：設計・建築・維持管理とする） 平成20年度：芸術文化交流施設整備等事業推進会議（会長：副市長、関係部局長にて構成）及び下部組織（幹事会、部会）にて、要求水準等を検討
3	PFIの運営上の課題はあるのか。（見学予定の施設について）	PFI事業の中に運営業務を含んでいないため、課題等はありません。 ※施設運営は、 <u>指定管理制度</u> を活用。
4	建設、運営を通してメリットは。	設計、建設について、個別に発注する場合と比較して、各業務間の有機的な連携や選定事業者の創意工夫を見込むことができ、事業の効率的かつ機能的な実施できたと考えています。維持管理においては、民間事業者が有する専門的な知識やノウハウを活用することにより、施設利用者のニーズやその変化に柔軟に対応した、良質なサービスの継続的な提供が期待できると考えています。
5	費用の比較検討段階と実際の違い。	市が自ら実施する場合の市の財政負担額とPFI方式で実施する場合の市の財政負担額の縮減割合（VFM）を比較する。 PFI導入可能性調査…5.6% 特定事業選定時…5.1% 落札者提案書…7.5%
6	今後も引き続きPFIを活用していくか。	本市では、効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進めることを目的として「豊橋市PPP/PFI手法導入優先的検討方針」を定めており、設計と建設を含む施設建設費が概ね10億円以上の事業については優先的検討対象としています。

20億
1125.4

設計・施



【担当課】豊橋市文化・スポーツ部 「文化のまち」づくり課

政務活動費事業実施報告書

会 派 名 創 進

代表者氏名 酢崎 義行



件 名	先進地視察③
	図書館PFI運営事業について
内 容	
実施日	5月11日 13時00分～15時00分
視察場所	三重県 桑名市
説明者	
	桑名市長 伊藤徳宇（なるたか）
	桑名市市民環境部 地域コミュニティ局生涯学習・スポーツ課長 糸見智博
	桑名市くわなメディアライブ事務局 総合館長 山田美穂
	桑名市中央図書館 伊藤直子
	桑名市議会事務局 総務調査係 安井悠祐
参加者	酢崎義行、増田葉子、松尾柴子、桜井正夫、小川利彦
成 果	
	別紙
写 真	
	

三重県桑名市

○桑名市のPFI事業への取組み

桑名市では平成12年にいち早くPFI手法を導入。平成16年、PFIによる日本初の図書館事業として、図書館を核とする複合公共施設<くわなメディアライヴ>を整備した。先行事例がない時期であったため、書類作成等の手続きが煩雑で、その経験から、この施設以降の取組みが続かなかった。「今後もPFIを活用するか」との問いには、「社会情勢、社会ニーズ、まちの規模等を勘案した手法を選択していきたい。」との答えであった。

くわなメディアライヴ (BOT方式)

整備年：平成16年

事業期間：30年

事業費：116億4千万円

年間予算：4億円

概要：敷地面積 3,200m²

対象施設 複合公共施設

(図書館、保健センター、勤労青少年ホーム、多目的ホール等)

事前質問書

平成 30 年 5 月 11 日(金)
千葉県印西市議会会派「創進」

件名：図書館 P F I 運営事業

1. P F I 活用の経緯は。

- ①平成 10 年度 「第 4 次桑名市総合計画」策定
 - ・図書館などの既存既設の機能充実を図る。
 - ・効率的で節度ある財政運営を図る。
- ②平成 11 年 2 月 桑名市 P F I 推進検討会設置
 - ・各部局の主管課長、まちづくり担当課長及び行政改革推進本部事務局担当主幹等
- ③平成 12 年 3 月 「新・桑名市行政改革大綱」策定
 - ・ P F I 手法を行財政改革として位置付け
- ④平成 12 年度 P F I 導入可能性調査委託 牙準化
 - ・委託先：(財)日本経済研究所
 - ・委託期間：平成 12 年 9 月 8 日～平成 13 年 2 月 28 日
- ⑤平成 13 年度 P F I アドバイザリー業務委託
 - ・委託先：(財)日本経済研究所
 - ・委託期間：平成 13 年 4 月 20 日～平成 16 年 2 月 28 日
- ⑥平成 13 年 6 月 「桑名市図書館等複合公共施設整備事業」提案審査委員会の設置
 - ・学識経験者等及び市職員で構成

2. P F I 導入の議論は、どのような組織体制で行われているのか。

上記のとおり

3. P F I の運営上の課題はあるのか。(見学予定の施設について)

- ①30 年間という長期にわたる事業であるため、将来起こりうる問題点を全て契約書に反映できないため、法律改正や制度改正がある都度、関係者協議会を開催して解決を図る必要がある。
- ②サービスの一定水準確保には、モニタリングによるチェックが最重要課題であるが 30 年間の長期間契約で市側も事業者側も入れ替わりがあり、意思疎通の問題が生じる。
- ③新たに発生した事案に対応するのに、市と事業者のみならずレンダー（融資者）の承認が必要となるため、柔軟に対応できない、時間がかかるということや、また、契約期間が長期に渡るため社会情勢の変化に対応しづらい問題がある。

4. 建設、運営を通してメリットは。

- ①財政的効果（市が自ら事業を実施する場合に比べ、P F I方式の場合財政負担軽減）
 - ・市が直接実施する場合 9,774 百万円（現在価値）
 - ・P F I方式で実施する場合 7,622 百万円（現在価値）
 - ・市の財政負担軽減額 2,152 百万円（現在価値）・・・約 22.0%財政負担削減率
- ②財政支出の平準化
- ③30年間の人員確保と専門的な人材の確保
 - ・T R Cスタッフ 25名（H30.4.1現在）
- ④30年間の図書購入費の確保が可能
- ⑤特に人員確保により、年間300日以上の開館と午前9時～午後9時までの開館時間が可能になったことで、入館者が大幅に増え、多くの市民に利用されるようになった。
- ⑥発生するリスクを想定し、その責任分担を明確にすることで、適切で迅速な対応が可能。
- ⑦情報技術の革新に民間ノウハウを発揮できる。（I Cタグ、自動化書庫、自動貸出機の導入で市民を待たせることなく本の貸出・返却ができる。）
- ⑧施設の修繕等については、市がその都度、入札等の契約行為をする手間が省けるとともに、民間ノウハウの手法により、早期対応が可能であり、必要な時期に効率的に行うことができる。

5. 費用の比較検討段階と実際の違い。

過去14年間（H16～H29）の物価下落と金利低下によるサービス対価支払額と当初見込みと比較した縮小額

①P F I事業（図書館等複合公共施設）に係る特定事業費債務負担行為額 （H16～H46）	約166億円
②H16～H29年度の当初予算額累計	約63億円
③H16～H29年度の決算額累計	約61億円
④差額（②－③）	約2億円

6. 今後も引き続きP F Iを活用していくのか。

現時点での契約期間満了後の契約は未定である。

P F I制度の本来の使い方は、市民サービスの向上や建築デザインも含め、利用者の視点に立ったサービスの向上が柔軟に行えることが真の意義があるのではないかと考えている。今後、ハード整備する際には、社会情勢、社会ニーズ、まちの規模等を勘案した手法を選択していきたい。

（H28.11.10総務省ヒアリング時の市役所政策経営課の回答抜粋）

<別紙>

会派 創進 視察研修行程

月	日	曜	場所	時刻		交通手段	金額		備考		
							単価	合計			
8	6	月	印旛日医大	発	8:22	北総線羽田空港行き	1,160	3,480	3人		
			千葉NT中央	発	8:30		1,080		2,180	2人	
			浅草橋駅	着	9:21						
						発	9:31	JR総武線三鷹行1番線発	170	850	5人
			新宿駅	着	9:52	16番線着					
						発	10:02	小田急小田原線快速急行	670	3,350	5人
			薬野駅	着	11:08						
								現地			
						着	13:00	タクシー	690	1,380	*2台
						自	13:00	視察研修:公共施設の再 配置について			
						至	15:00				
						発	16:00	タクシー	690	1,380	*2台
						着	16:30	グランドホテル神奈中薬野 〒257-0034 神奈川県薬野 市大薬町1-10	13,000	65,000	5人分
						発	8:30	TEL0463(83)5555			
8	7	火	薬野駅	発	8:59	小田急小田原線快速急行	280	1,400	5人分		
			小田原駅	着	9:21						
						発	9:30	JR快速アクティー・熱海行	1,320	6,600	5人分
			熱海駅	着	9:53						
						発	9:59	JR東海道本線・静岡行			
						着	10:39	JR身延線・西富士宮行			
			富士駅	発	10:43						
						着	11:02				
								現地			
						着	13:00	タクシー	770	1,540	*2台
						自	13:00	視察研修:フードパレーに ついて			
						至	15:00				
						発	16:00	タクシー	900	1,800	*2台
						着	16:20				
			発	16:42	JR身延線・富士行	670	3,350				
			着	17:00							
			発	17:04	JR東海道本線・熱海行						
			着	17:29							
			発	17:56	JR新幹線ひかり474号・東 京行	4,320	21,600	5人分 (乗車券三島一品川)			
			着	18:33							
			発	18:53							
			着	19:54		1,320	2,640	2人			
			着	20:01		1,390	4,170	3人			

計 120,720

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	



自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

No. 038620

お取扱目 30-06-28	取扱店 285	号機/NB 93 N 0134	口座店 296	口座番号 普通	通番 221	お取引内容 引出					
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額 ¥43,250	お取引後元帳残高 ¥216
* 予約振込明細 *											
お振込先											
ご依頼人 カグランホテル千葉 様 インゲンイシカイ カイソク 様 TEL 0463-555500 06月29日振込 15:45											
印紙税申告納付につき千葉県税務署まで郵送											

株式会社 グラント
〒254-0811 平塚市八
FEL (0463) 23-2555(代)
〒257-0034 秦野市大
FEL (0463) 83-5555(代)



印紙税納付の必要がない場合は
*印で消してあります。
裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

金額

領 収 証

No. 099984



殿

										円
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

但

印 収
紙 入

上記の金額正に領収致しました

平成 年 月 日

抜者印



株式会社 グラントホテル神奈中
〒257-0034 秦野市大森 5555(代)

金額の訂正、改ざん、本証控との相違、または抜者印なきものは無効です。

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領 収 証

No. 099986

印 収

紙 入

殿

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

但

上記の金額正に領収致しました

平成 年 月 日

扱 者 印



株式会社 **Grantホテル神奈中**

〒257-0034 秦野市大秦町1-10 ☎0463-83-5555(代)

金額の訂正、改ざん、本証控との相違、或いは扱者印なきものは無効です。

領 収 証

No. 099985

印 収

紙 入

殿

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

但

上記の金額正に領収致しました

平成 年 月 日

扱 者 印



株式会社 **Grantホテル神奈中**

〒257-0034 秦野市大秦町1-10 ☎0463-83-5555(代)

金額の訂正、改ざん、本証控との相違、或いは扱者印なきものは無効です。

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領 収 証

No. 099982

印 収

紙 入

殿

									円
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

但

上記の金額正に領収致しました

平成 年 月 日

扱 者 印



株式会社 **グラントホテル神奈中**

〒257-0034 秦野市大森町1-10 ☎0463-83-5555(代)

金額の訂正、改ざん、本証控との相違、或いは扱者印なきものは無効です。



領 収 証

No. 099983

印 収

紙 入

殿

									円
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

但

上記の金額正に領収致しました

平成 年 月 日

扱 者 印



株式会社 **グラントホテル神奈中**

〒257-0034 秦野市大森町1-10 ☎0463-83-5555(代)

金額の訂正、改ざん、本証控との相違、或いは扱者印なきものは無効です。



支出証明書

1 支払金額

9,860 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年8月6日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	印旛日医大駅～秦野駅 2,000円 x 3人 = 6,000円 / 千葉ニュータウン中央～秦野駅 1,930円 x 2人 = 3,860円 /			
理 由	会派視察交通費			
債 権 者	京成電鉄、JR、小田急電鉄			

支出証明書

1 支払金額

2,760 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年8月6日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	秦野駅—秦野市役所 タクシー代 690円x2台=1,380円 / 秦野市役所—秦野駅 タクシー代 690円x2台=1,380円 /			
理 由	8/6—8/7 会派視察研修交通費(8/6 タクシー分) 都合のいい時間にバスがなかったため			
債 権 者	秦野タクシー			

支 出 証 明 書

1 支払金額

39,760 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年8月7日

会 派 名 創 進
代 表 者 名 酢 崎 義 行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	秦野駅—富士宮駅 1,600円x5人=8,000円 富士宮駅—三島駅 670円x5人=3,350円 三島駅(ひかり474号)—品川駅 4,320円x5人=21,600円 品川—千葉ニュータウン中央 1,320円x2人=2,640円 品川—印旛日医大駅 1,390円x3人=4,170円			
理 由	8/6—8/7 会派視察研修交通費(8/7 分)			
債 権 者	小田急電鉄			
	JR			
	京成電鉄			

支出証明書

1 支払金額 3,340 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年8月7日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	富士宮駅—富士宮市役所 タクシー代 770円x2台=1,540円/ 秦野市営レストラン建設現場—富士宮駅 タクシー代 900円x2台=1,800円/			
理 由	8/6—8/7 会派視察研修交通費(8/7 タクシー分) 都合のいい時間にバスがなかったため			
債 権 者	ホンダタクシー			

政務活動費事業実施報告書

会 派 名 創 進

代表者氏名 酢崎 義行



件 名	先進地視察④		
	公共施設の再配置について		
内 容			
実施日	8月6日(月) 13:00~15:00		
視察場所	神奈川県秦野市		
説明者	政策部公共施設マネジメント課	課長	志村 高史
	秦野市観光協会	事務局長	谷口 嘉信
	議会事務局	次長	大津 良昭
	議会事務局	書記	小林 健
参加者	酢崎義行、増田葉子、松尾栄子、桜井正夫、小川利彦		
成 果			
	別紙		
写 真			

会派創進視察報告

神奈川県秦野市

視察日時：平成30年8月6日（月） 13:00～15:00

テーマ：公共施設の再配置について

秦野市では、公共施設更新問題をまちづくりの原点と捉え、市民と一緒に取り組んでいる。過去のデータを踏まえた現状分析を徹底的に行い、財政状況の将来予測をしたうえで、市民の理解を得たうえで再配置を計画している。

分析の中では、公共施設をハコモノ、上下水道、道路・橋梁に分類し、特にハコモノについて、対策を取っている。上下水道については利用料金を徴収しているため対象外とし、道路橋梁については、距離の延長に警鐘を鳴らしているが、今の段階では対象外としている。秦野市の取組内容は、今ではホームページで公開している。

今回の視察では、事前に印西市の状況も分析してくれていて、その内容を添付資料に示してある。印西市も今後公共施設の再配置に長期間かけて取り組むようになってきますので、参考にすべきと思われる。

政務活動費事業実施報告書

会 派 名 創 進
 代 表 者 氏 名 酢 崎 義 行



件 名	先進地視察⑤		
	フードバレーについて		
内 容			
実施日	8月7日(火) 13:00~15:00		
視察場所	静岡県富士宮市		
説明者	産業振興部農業政策課食のまち推進室 室長	佐野 和之	
	富士宮市議会	議長	手島 皓二
	富士宮市議会 事務局	局長	佐野 克己
	富士宮市議会 事務局	庶務調査係	吉野 将太
参加者	酢崎義行、増田葉子、松尾栄子、桜井正夫、小川利彦		
成 果	別紙		
写 真			

平成 30 年 8 月 会派創進視察報告

静岡県富士宮市

平成 30 年 8 月 7 日(火) 13 時～15 時

視察テーマ：「フードバレーについて」

【視察報告】

富士宮市では平成 16 年からフードバレー構想を立ち上げ、平成 18 年に推進課を設置。市が有する多種多様な食資源を生かし、市の産業振興、市民の健康づくり等を目指す総合的な取り組みとして、総合計画に据え、まちづくりに取り組んで来た。「フードバレー」では、5つの柱をもとに、具体的な取り組みを進めている。

(資料参照)

全国的に有名な「富士宮やきそば」は、フードバレー構想に先立つ平成 11 年、中心市街地活性化を目指すワークショップの中で誕生し、翌 12 年、「やきそば」を活かしたまちおこしを、と「富士宮やきそば学会」を立ち上げたのが発端。継続的な話題提供の積み重ねがマスコミ等でも話題になり、平成 16 年商標登録された。平成 18 年、青森県八戸市で開かれた「B-1 グランプリ」で優勝。次年度開催地となり、2 連覇となったことで全国的に知られるようになった。富士宮やきそば目当ての観光客は年間 25～50 万人、地域への波及効果は 9 年間で 439 億円以上に上ると試算されているという。

また市内では参拝・観光名所である富士浅間大社のそばに、地元の食材等を使ったレストラン等も入る施設が現在建設中であり、さらに食のまちづくりが進行中である。

フードバレー構想、「食のまちづくり」は、民間からの着想、試行を行政が支援し、発展させ、民間、JA、行政の官民が一体となって実現してきたものである。

印西市においても、米、野菜、イチゴ、梨、花、竹細工等の生産が盛んであるが、これらの農業生産物が出荷と直売だけで終わるのではなく、首都近郊の立地、千葉ニュータウン地区などに多くの消費者を擁しているメリット等を活かし、農業生産者、商業者、JA、市等が一体となって、「道の駅」等で地元食材を活用したレストランや地元製品の販売所などを設置し、そこを拠点に食育等総合的な取り組みを進めていくことで、農・商業の活性化、市の魅力アップ、シティ・プロモーション等にもつなげていけるのではないかと考える。

市の農業政策、まちおこし、商業活性化、食育等、各種事業をこうした総合的な視点で見直し、印西らしい魅力のあるまちづくりに反映していきたい。

政務活動費収支明細

使途項目： 研修費

会派名： 創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
201	平成30年6月9日	JR他	交通費	交通費	1,866
202	平成30年12月24日	東京女子医科大学	駐車場代	交通費	400
203	平成30年12月24日	日本地域医療連携システム学会	研修参加費	会費	2,000
					0
					0
					0
					0
					0
					0
計					4,266

政務活動費事業実施報告書

会派名: 創進
 代表者氏名: 酢崎義行



件名				
2 研修費				
内容				
1	報償費		0	円
2	会場費		0	円
3	機材使用料		0	円
4	交通費		2,266	円 /
5	旅費		0	円
6	会費		2,000	円
7	振込料		0	円
		計	4,266	円 /
	4 交通費	講習会参加交通費3回分	2,266	円 /
	6 会費			
	研修名	開催日	費用	参加者
	日本地域医療連携システム学会	12月24日	2,000	増田 /
		計	2,000	円 /

領収書等貼付用紙

	区	分	
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

東京女子医科大学
八千代医療センター第1駐車場

領 収 証

入庫日時 平成30年12月24日 13時11分
出庫日時 平成30年12月24日 15時22分
No. 20 000097 券No. 10-919463

駐車料金(1時間あたり) 400円
料金計 400円
投入現金 1,100円
釣銭額 700円

領 収 証

平成30年 12月 24日

印西市議会 会派 創進 様

金額 ￥. 2,000. -

但 第2回日本地域医療連携システム学会への参加費として
上記金額正に領収いたしました

千葉県八千代市萱田2245(医)四つ葉会内

第2回日本地域医療連携システム学会

会長 上野 隆夫

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

支出証明書

1 支払金額

1,866 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年6月9日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	交通費 千葉NT中央駅—海浜幕張(往復)1,866円			
理 由	増田葉子 研修交通費			
債 権 者				
	JR			
	京成電鉄			

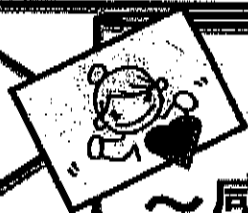
政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 酢 崎 義 行

件 名	教育相談セミナーⅠ 「感情の発達を学ぶ～感情の育ちを支えるために～」への参加
内 容	千葉県子どもと親のサポートセンター主催の主に特別支援学校、特別支援学級担当の教員向けのセミナーに参加した。近年、「発達障害」が障害福祉、特別支援教育の世界で注目されている。普通学級でも1割程度は情緒の発達に問題のある子どもが存在するとも言われ、特別支援教育の政策上の課題を学ぶ機会となった。講師は、法政大学教授の渡辺弥生先生で、発達心理学、学校心理学が専門。感情がどのように育っていくのか、心の発達の過程がよく理解できた。
日 時	平成30年6月9日 13:30～16:00
会 場	千葉県総合教育センター大ホール
参 加	増田葉子
経 費	1,866円、 交通費 千葉NT中央駅～海浜幕張（往復） 1,866円

千葉県子どもと親のサポートセンター
平成30年度 休日開放事業 教育相談セミナーⅠ



感情の発達を学ぶ

～感情の育ちを支えるために～



自分の気持ちに気づき、相手を思いやれる子どもを育てるために、感情の育ちについて一緒に学びませんか？

講師：法政大学

わたなべ やよい

渡辺 弥生 教授

発達心理学、発達臨床心理学、学校心理学が専門です。理論に基づいた、具体的なことについてお話いただきます。

著書 『子どもの「10歳の壁」とは何か？乗り越えるための発達心理学』『子どもの感情表現ワークブック』『中学生・高校生のためのソーシャルスキルトレーニング』等、多数

<日時>平成30年6月9日(土)

受付 13:00～13:25

講演 13:30～16:00

個別相談 午前中に実施します。(事前予約希望者のみ)

(センター所員による「不登校」等の教育相談を個別に対応します。)

※個別相談を希望された方には、内容・時間等について電話で確認させていただきます。

<会場>千葉県総合教育センター 大ホール

最寄駅 JR総武線 幕張駅から徒歩約15分(タクシー 5分)

JR京葉線 海浜幕張駅から徒歩約10分

<対象>県民・教育関係者等 <定員>150名(先着順) <参加費>無料

申込方法 メール/電話/FAX

【電話】043-207-6034：千葉県子どもと親のサポートセンター 教育相談部

【FAX】043-207-6041

【メール】saposoudan@chiba-c.ed.jp

※メール及びFAXでお申し込みの際には、以下の内容をご記入ください。

件名「教育相談セミナーⅠ 申込」

①氏名(ふりがな)

②所属(教育関係者以外の方は「県民」と明記)

③連絡先(電話番号)

④個別相談希望の有無

⑤その他、手話通訳や車いす席等をご希望される場合は、事前にお申し出ください。

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 酢 崎 義 行



件 名	
日本地域医療連携システム学会 in 八千代	
第2部 講演、シンポジウムへの参加	
内 容	
東京女子医大八千代医療センターにおいて、「日本地域医療連携システム学会」が開催されたので、第二部の講演「超高齢社会における地域と大学の連携」、シンポジウム「その人らしい暮らしを地域で支える」、特別講演「地域医療連携の構築」に参加した。医療介護の地域連携に取り組む全国の医療従事者、医療ソーシャルワーカー、訪問薬剤師、訪問看護師などの密度の濃い取り組みを聞くことができた。八千代市の歯科医師会の口腔リハビリのメソッドや、ケアマネ・ネットワークの仕組みづくりなど、印西市でも取り組める内容が含まれており参考になった。	
日 時	平成30年12月24日 13:00～16:30
会 場	東京女子医科大学八千代医療センター 外来大会議室
参 加	増田葉子
経 費	2,400円
	参加費 2,000円
	駐車料金 400円

第2回 日本地域医療連携システム学会 in 八千代

【日時】平成30年12月24日(月/振替休日) 9:30~16:45

【会場】東京女子医科大学八千代医療センター外来棟4階大会議室

日本医師会・日本歯科医師会
日本薬剤師会・生涯教育講座

◆学会長開会挨拶 学会理事長挨拶 八千代市医師会会長挨拶 9:30-9:45

総合司会 春日井いつ子

◆基調講演 9:45-10:30 座長 三昧内科クリニック 院長 栗林 伸一 先生

「糖尿病合併症と糖尿病療養支援チーム -すべては患者さんのために-」

演者 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科 教授 橋本 尚武 先生

◆講演1 10:30-11:05 座長 埼玉医科大学総合医療センター腎・高血圧内科学教授 長谷川 元 先生

「腎臓医が食いつく病診連携のツボ」

演者 聖隷佐倉市民病院 腎臓内科 副院長 鈴木 理志 先生

◆講演2 11:05-11:40 座長 我孫子東邦病院 院長 大城 充 先生

「がん治療と多職種連携」

演者 東京女子医科大学八千代医療センター 化学療法科 診療科長/准教授 倉持 英和 先生

◆講演3 11:40-12:15 座長 学校法人秀明大学 在宅看護学 専任講師 梁原 裕恵 先生

「パターンリズムに陥らない地域連携」

演者 まちのナースステーション八千代 統括所長/看護師 福田 裕子 先生

◆ランチタイムブレイク◆ 12:35-12:45 がん哲学外来千葉県内2カフェの活動報告

ながれやまカフェ 代表 春日井いつ子
花一輪カフェ 代表 上田 由起子

(第2部)

◆教育講演 12:50-13:25 座長 我孫子東邦病院 院長 大城 充 先生

「超高齢化社会における地域と大学の連携 -岡山大学の取り組みについて-」

演者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 泌尿器病態学 教授 那須 保友 先生

◆シンポジウム 13:30-15:45 座長 白銀クリニック 院長 都祭 敦 先生

「その人らしい暮らしを地域で支える -その時医療者は-」

【シンポジスト】 八千代市医師会 さくらがわクリニック	院長/医師	櫻川 浩 先生
八千代市歯科医師会理事 中澤歯科	院長/歯科医師	中澤 正博 先生
東京女子医科大学八千代医療センター医療支援室	看護師長	田原 昌子 先生
やちよケアマネ・ネットワーク会長 ケアーズ指定居宅介護支援事業所ケアマネージャー		白濱 徳之 先生
さわやか訪問看護ステーション	所長/看護師	神原 智子 先生
八千代市薬剤師会理事	薬剤師	金谷 法好 先生
ナカ社会福祉士事務所	代表/社会福祉士	中山 敏子 先生
春日部/野田がん哲学外来&メディカルカフェ	代表/看護師	高野みどり 先生

◆特別講演 15:55-16:35 座長 鳥取県看護協会会長 内田 眞澄 先生

「地域医療連携の構築 -隙間を埋める-」

演者 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授
日本地域医療連携システム学会 一般社団法人がん哲学外来 理事長 樋野 興夫 先生

◆次期会長挨拶、閉会の挨拶 16:35-16:45

第2回日本地域医療連携システム学会 【会長】上田 哲郎(医)四つ葉会 ゆりのきクリニック院長

【副会長】 内田 眞澄 第3回大会長/鳥取県看護協会会長

那須 保友 第4回大会長/岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科研究科長 泌尿器病態学教授

学会参加費 医師/歯科医師 3,000円 (その他 2,000円) 事前申し込み者 お弁当支給

参加申し込み詳細⇒ゆりのきクリニックHP内 第2回日本地域医療連携システム学会をご覧ください

【HP】 yurinoki-clinic.com

担当:学会事務局 上田由起子

参加申し込みは TEL:080-1344-1825 FAX:047-750-7506

主催:日本地域医療連携システム学会

メール: golf320yukinko@outlook.jp

後援: 八千代市医師会・八千代市薬剤師会・八千代市歯科医師会・八千代市訪問看護師会・千葉県医師会・八千代市協賛: (医)四つ葉会 協力: がん哲学外来カフェ (春日部・野田・ながれやま・花一輪)

第2回

日本地域医療連携システム学会 in 八千代

地域医療は連携から協働へ

日時

平成30年

12月24日

月曜
(休日)

9:30~16:45

会場

東京女子医科大学 八千代医療センター
外来棟4階大会議室

政務活動費取支明細

使途項目： 広報費

金派名： 創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
301	平成30年7月2日	千葉銀行	振込料	振込料	216
302	平成30年7月2日	サンオフィス	広報誌印刷・折込代	広報費	282,463
303	平成30年11月20日	千葉銀行	振込料	振込料	216
304	平成30年11月20日	サンオフィス	広報誌印刷・折込代	広報費	282,463
					0
					0
					0
					0
					0
計					565,358

政務活動費事業実施報告書

会派名: 創進
 代表者氏名: 酢崎義行



件名				
3 広報費				
内容				
1 会場費				0 円
2 資料作成費				0 円
3 広報費				564,926 円
4 機材使用料				0 円
5 通信運搬費				0 円
6 HP作成維持管理料				0 円
7 振込料				432 円
計				565,358 円
3 広報費				
発行内容				
	発行日	印刷数	配付方法	金額(税込)
	Vol. 9	25,500部	新聞折り込み	282,463 円
	Vol. 10	25,500部	新聞折り込み	282,463 円
	振込料	216円	2回	432 円
計				565,358 円

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領 収 書

No. 20

2018年 7月 2日

会派 創進

様

¥282,463-

但し 「創進」第9号 会報制作一式
上記正に領収致しました。



サンオフィス
代表 齋藤 郁世
〒270-1617
千葉県印西市吉田1625
TEL:0476-50-2620
FAX:0476-99-0295



領 収 書

2018年 6月28日

No. 20

会派 創進 御中

サンオフィス
代表 齋藤 郁世
〒 270-1617 千葉県印西市吉田1625
TEL 0476-50-2620 FAX 0476-99-0295



お振込先： サンオフィス 代表 齋藤郁世


下記の通りご請求申し上げます。
件名：「創進」第9号 会報制作一式

0007	「創進」会報 タブロイド版 C68K 4/4C	25500	部	168300
	折込料 (7/1折込)	25200	部	93240
		282,463		20,923

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通帳	お取引内容	
30-07-02	285	93	N	0134	296	普通	191	引出	
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円
お取引金額							お取引元帳残高	円	
¥282,462							¥216	*****	

お振込先 千葉銀行

ご依頼人 ｲﾝﾌｫｲﾐｹﾞｲｶｲ ﾎﾝｼﾞﾝ 様
TEL

13:06

印紙税申告納付につき千葉県
財務・警察・建設

印紙税納付の必要がない場合は
 ※印で消しております。
 裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

公共施設のマネジメント 提案に向け

先進地のPFIを研修

伊西市は、千葉ニュータウンの開発による人口増に対応して、公共施設の多くが整備されてきました。建設から20～30年経ち、それらは大規模修繕の時期を迎え、築40年以上の施設は、建替えや廃止が検討されています。一方で、新たな住宅地もどんどん広がり、人口も、先ごろ10万人を超えました。現在の公共施設が、新たな人口増に見合ったものか、配置は適切か、市域全体のマネジメントが必要になってきています。

創造では、公共施設の再配置、再整備の必要性を考え、伊西市では導入されたことのない「PFI」をテーマに先進地を視察してきました。PFI (Private-Finance-Initiative) とは、文字通り、公共 (Public) ではなく、民間 (Private) の資金 (Finance) 。さらに、経営能力や技術力を活用して、公共施設を整備・維持・管理・運営していく手法のことで、PPP (Public-Private-Partnership : 官民の連携) の概念のもと、平成11年にPFI法が制定され、以来、各地で公共施設の整備に採用されるようになりました。

一口にPFIと言っても、様々な手法があります。主なものを表にまとめました (右表)。整備する施設にどの手法がもっとも適しているか、そもそもPFIが有利なのか等、導入にあたっては個別に検討を重ねる必要があります。

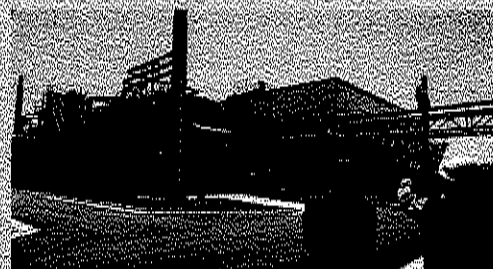
BTO (Build Transfer Operate)	民間が施設等を建設し、完成後、公共に所有権を移転し、公共が建設費も含む維持・管理運営費用を負担する方式。
BOO (Build Own Operate)	民間が施設等を建設して維持・管理運営し、事業が終了した時点で民間が解体・撤去まで行う方式。
BOT (Build Operate Transfer)	民間が施設等を建設して維持・管理運営し、事業が終了した後に公共に所有権を移転する方式。
ちなみに…… 指定管理者制度	公共が施設を建設し、管理運営をする民間事業者を指定 (行政処分) する方式。

研修報告

豊橋市視察報告

●豊橋市のPFI事業への取組み

豊橋市では、「PPP/PFI手法導入優先的検討方針」を14年に定めており、施設整備費が概ね10億円以上のものは、必ずPFI事業が検討されている。これまで、余熱利用施設、保健センター、学校給食センターでPFIが活用されており、全国でも屈指の先進地である。今回は以下の2施設を視察し、伊西市の今後の様々な施設整備にもPFIを検討すべきと思われるが、国・県の補助金に影響を与える等難しい問題も抱えている。



豊橋市バイオマス利活用センター (BTO方式)

整備年：平成29年 事業期間：20年
事業費：約147億円 年間予算：約7億4千万円

民間事業者のバイオ技術を活用し、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを発酵させ、バイオガスを生成し、それを燃料に発電している。また、発酵後の汚泥は炭化燃料に加工し、全てを熱エネルギーとして利用する。事業は、設計・建設と20年間の維持管理・運営にBOT方式が採用された。施設更新予定地 (空き地) で太陽光発電も行い、財政負担の軽減は年間6億円の見込み。

穂の国とよはし芸術劇場 (BTO方式)

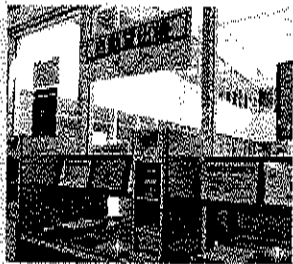
整備年：平成25年 事業期間：15年
事業費：約70億円 年間予算：約3億4千万円
(指定管理料も含む)

良質な演劇専用劇場の環境を整えた主ホールを中心とした芸術文化交流複合施設を豊橋駅徒歩3分の立地で整備。設計・建設と15年間の維持管理をBTO方式で行っている。事業運営は、指定管理者制度で市の外郭団体が行う。維持管理も含まれているため、財政負担の平準化が導入効果としてあげられる。

三重県桑名市

●桑名市のPFI事業への取組み

桑名市では平成12年にいち早くPFI法を導入。平成16年、PFIによる日本初の図書館事業として、図書館を核とする複合公共施設<くわなメディアライヴ>を整備した。先行事例がない時期であったため、書類作成等の手続きが煩雑で、その経験から、この施設以降の取組みが続かなかった。「今後もPFIを活用するか」との問いには、「社会情勢、社会ニーズ、まちの規模等を勘案した手法を選択していきたい。」との答えであった。



くわなメディアライヴ (BOT方式)

整備年：平成16年 事業期間：30年

事業費：116億4千万円 年間予算：4億円

(買料も含む)

図書館、保健センター、勤労青少年ホーム、多目的ホール等からなる複合公共施設。多世代の市民に愛され、よく利用されている施設。所有権は民間にあるため、保健センターなどの市施設は賃料を支払う形になっている。

八王子市

八王子市のPPP(官民協働)

要支援1と2の通所介護と訪問介護が保険給付から外され、今年度から市の事業に完全移行されました。市町村が事業費を補助し、将来的には市民の有償ボランティアが担っていかなくてはなりません。印西市では具体的な動きは聞こえてきません。



●空き家を活用した介護予防の新しい総合事業

八王子市では、すでに、福祉事業者+市民による取り組みが昨年からはじまっており、高尾山のふもとの拠点「caféかじやしき」を視察研修させていただいた。近所の高齢者の通所施設として、月、水、金の週3日開所し、月200人の高齢者を受け入れる。運営にあたるボランティア市民のパワーに感心させられるとともに、担い手の介護予防にもあたるという解釈で、加算を上乗せするなど、市の支援体制にも学ぶべき点が多かった。

●市民活動協議会が地域資源調査

こうした市民パワー情報を、WAM(医療福祉機構)の公益助成で『生き生きハンドブック』としてまとめた。N.P.O法人市民活動協議会の取り組みについても、お話を

を開けた。

新しい総合事業を推進するにあたって、「地域にどんな福祉の資源があるのか分からない」という素朴な議論から、資源調査と冊子の作成を事業化した。

市民活動協議会は、市民活動団体の中間支援の活動をしており、期せずして、「生活支援コーディネーター」の役割を担っている。「生活支援コーディネーター」は、新しい総合事業のなかで、地域にどんな資源があるのか、発掘・育成・コーディネートする介護保険法に規定された役目。印西市は現在、生活支援コーディネーターの配置はたった2名。広い市域で展開される活動を網羅しきれていない。八王子市のような進め方も手法の一つとして興味深かった。

創進メンバー連絡先

会派代表

酢崎義行 (すざき よしゆき)

住所：〒270-1617

印西市吉田1758

連絡先：Tel/Fax 0476-99-0649

E-Mail: suzaki@blue.plala.or.jp

主な役職：副議長



企画担当

松尾栄子 (まつお えいこ)

住所：〒270-1359

印西市本刈2-10-9

連絡先：Tel/Fax 0476-46-7998

E-Mail: mytime@rurbanner.ne.jp

主な役職：文教福祉常任委員会委員



会計担当

増田葉子 (ますだ ようこ)

住所：〒270-1347

印西市内野2-1-6-202

連絡先：Tel/Fax 0476-46-6809

E-Mail: YFA49624@nifty.com

主な役職：文教福祉常任委員会委員長



研修担当

桜井正夫 (さくらい まさお)

住所：〒270-1616

印西市岩戸3626

連絡先：Tel/Fax 0476-99-0577

主な役職：建設経済常任委員会委員



広報担当

小川利彦 (おがわ としひこ)

住所：〒270-2322

印西市箕沖638

連絡先：Tel 0476-97-3426

Fax 0476-97-5133

E-Mail: ponitaku1188@yahoo.co.jp

主な役職：総務企画常任委員会副委員長



この紙面に掲載の文書、写真など無断転載を禁じます。全ての著作権は、印西市議会会派創進に属します。



領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領収書


No. 20
2018年11月20日

会派 創進 様

¥282,463-


(内消費税等 ¥20,923-)

但し 「創進」第10号 会報制作一式
上記正に領収致しました。



サンオフィス
代表 齋藤 郁世
〒270-1617
千葉県印西市吉田1625
TEL:0476-50-2620
FAX:0476-99-0295

担当者



領収書

No. 2

2018年11月13日

サンオフィス
代表 齋藤 郁世
〒270-1617 千葉県印西市吉田1625
TEL 0476-60-2620 FAX 0476-99-0295

会派 創進 御中



下記の通りご請求申し上げます。
件名：「創進」第10号 会報制作一式

0007	「創進」会報 タブロイド版 C68K 4/4C	25500	部	168300
	折込料 (11/15折込)	25200	部	93240
282,463				20,923

お振込先： サンオフィス 代表 齋藤郁世

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	30-11-20	取扱店	296	号機	N	銀行番号	0134	口座店	296	口座番号	XXXXXXXXXX	通番	219	お取引内容	引出
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	円	手数料	円	お取引後元帳残高	円
										¥282,463		¥216	*****		
ご案内		* お振込先		* お振込明細								DB0219			
		お振込先		XXXXXXXXXX											
		ご依頼人		サンオフィス サイトウ イクヨ 様										13:50	
				インク イキカイ カイ ソウシン スワキ ヨシ 様											
				TEL XXXXXXXX											

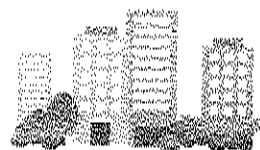
印紙税納付の必要がない場合は
 *印で消してあります。
 裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

研修報告

これからの「ハコモノ」を考える

***** 「公共施設の再配置」先進市、神奈川県秦野市を視察研修



「ハコモノ」という言葉にどんなイメージをお持ちでしょうか。建物は立派だが使い勝手が悪い、維持費が財政を圧迫する、あまり利用されずに老朽化している……。[ハコモノ=行政の無駄]、そんなイメージが一部にあります。しかし、公共施設は、市民サービスの拠点です。総合体育館はスポーツ振興政策の、保健センターは健康づくり政策の、コミュニティ施設は住民自治の拠点です。どこにどんな施設を造るかは、まちづくりそのものとも言えます。



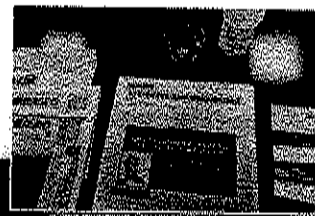
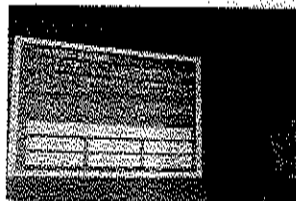
広報いんざい等でもお知らせしているとおり、印西市では、「公共施設等総合管理計画」を策定し、現在の公共施設をそのまま維持していくことは難しく、長期的に総面積の34%を削減するという方針を出しています。今年度は、いつ、どの施設を廃止するのか（あるいは建て替えるのか）、具体的な方針を盛り込む「アクションプラン」の策定に入っています。

そこで、会派 創造では、「公共施設の再配置」の先進市、秦野市を視察してきました。

●印西市は34年後に34%の公共施設を削減

合併してまもなく10年を迎えます。合併時、そのまま引き継がれ、検証が先送りされた公共施設や、合併協議の約束で新たに整備された施設もあります。また、新たな住宅地がどんどん広がり、人口も急増、地域による偏りもでています。10年を機に、市全域の中で公共施設が適切に配置され、より市民が暮らしやすくなるよう見直していく必要があります。

印西市の「アクションプラン」がどのようなものになるのか、今のところまったく分かりませんが、単なる削減計画ではなく、「新たなまちづくり」のために策定されるものでなくてはなりません。



印西市の財政データを用い、印西市版の資料でご説明いただきました。

●秦野市の「公共施設白書」がすごかった！



秦野市では、「公共施設の再配置計画」の基礎データとして、約500ページにも及ぶ「公共施設白書」を平成21年に策定しました。「施設更新問題の対応は、白書づくりが始まり」と言い切っています。秦野市の施設白書は、各施設ごとに量的な分析、経費の分析、利用状況の分析が詳細に行われています。



印西市でも今回「施設カルテ」なる資料をつくっていますが、分析力が桁違いです。例えば、公民館ならば、全館の利用率ではなく、部屋ごとに、何曜日によく使われるか、時間帯ごとの利用率はどうか、詳細にクロス集計され、最適な機能を検証しています。

また、図書館では、詳細な分析の結果、「貸し出しが伸びないのは立地が不便だから」という結論を導き出し、施設を造らず利便性をあげる方法を検証しています。

こうした綿密な分析の上に、平成23年には、印西

立地の不便な図書館にかわる

「図書無人貸出しサービス」スマートライブラリー

貸出し・返却を利用者が「自動貸出返却装置」を使って行う。出入り口にセキュリティゲートがあり、手続きをしない本は持ち出せない。実証実験中。

市のアクションプランにあたる「再配置計画」が策定されています。これまでの取り組みとして、保健福祉センターの使われていないスペースに郵便局を誘致して賃料をもらうだけでなく住民票等の発行サービスを代行してもらったり、住民団体に自治会館を無償譲渡し、独立館だった児童館や老人憩いの家を併設してもらったり、駅に近い公共施設で図書無人貸し出しサービスの実証実験をしたり、合理的に考え、知恵を絞り、工夫をこらし、計画の削減目標を達成しています。

果たして印西市のアクションプランはどんなものが出来上がるのでしょうか。「公共施設の再配置はまちづくり」ということが改めて認識できる研修でした。



保健福祉センターへ郵便局を誘致

産業の集積地

食のシリコンバレーをめざす

静岡県富士宮市の「フードバレー構想」を視察研修

食はいずれ体をつくる大切なもの。産業・農業振興、環境保全、市民の健康づくりに関わる「総合的な」政策です。富士宮市では平成16年から「フードバレー構想」を立ち上げ、市内にある多種多様な食資源を生かし、食のまちづくりに取り組んでいます。平成18年にフードバレー推進課も設置され、総合計画でも大きな柱になっています。

●「フードバレー」を支える市民の力

「フードバレー構想」「食のまちづくり」は、民間からの着想、試行を行政が支援し、発展させ、民間、J A、行政の官民が一体となって実現してきました。富士宮市は霊峰富士を市域に抱えます。訪れる観光客のために商業者からは泉のようにアイデアが湧き出てきます。市はそのアイデアを何とか実現できるよう支援しているそうです。参拝・観光の名所である富士浅間大社のそばに、地元食材を使った公設のレストランを建設中でした。

印西市においても、米、野菜、イチゴ、梨、花、竹細工等の生産



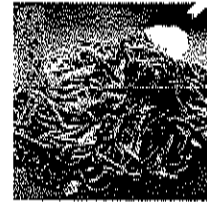
が盛んです。これらの農産物が出荷と直売だけで終わるのではなく、首都近郊の立地、ニュータウン地区などに多くの消費者を擁しているメリットを活かし、農業生産者、商業者、J A、市等が一体となって、地元食材を活用するレストランや地元産品の拠点づくりに取り組めないでしょうか。拠点を中心に食育等に総合的な視点で取り組むことで、農・商業の活性化、市の魅力アップ、シティプロモーションにつながっていくと考えます。

印西らしい魅力のあるまちづくりに反映していきたいと思えます。

富士宮といえば「富士宮やきそば」

全国的に有名な「富士宮やきそば」は、フードバレー構想に先立つ平成11年、中心市街地活性化を目指すワークショップの中で誕生し、翌12年、「やきそば」を活かしたまちおこしを、と「富士宮やきそば学会」を商店街の有志が立ち上げたのが発端。継続的な話題提供の積み重ねがマスコミ等で話題になり、平成16年商標登録された。平成18年、青森県八戸市で開かれた「B-1グランプリ」で優勝。

富士宮やきそば目当ての観光客は年間25～50万人、地域への波及効果は9年間で439億円以上上ると試算されている。



創進メンバー連絡先

会派代表

酢崎義行 (すざき よしゆき)

住所：〒270-1617
印西市吉田 1758
連絡先：Tel/Fax 0476-99-0649
E-Mail：suzaki@blue.plala.or.jp
主な役職：副議長



企画担当

松尾栄子 (まつお えいこ)

住所：〒270-1359
印西市木刈 2-10-9
連絡先：Tel 0476-46-7998
Fax 0476-46-8102
E-Mail：mytime@rurbannet.ne.jp
主な役職：文教福祉常任委員会委員



会計担当

増田葉子 (ますだ よここ)

住所：〒270-1347
印西市内野 2-1-6-202
連絡先：Tel/Fax 0476-46-6809
E-Mail：YFA49624@nifty.com
主な役職：文教福祉常任委員会委員



研修担当

桜井正夫 (さくらい まさお)

住所：〒270-1616
印西市岩戸 3626
連絡先：Tel/Fax 0476-99-0577
主な役職：建設経済常任委員会委員



広報担当

小川利彦 (おがわ としひこ)

住所：〒270-2322
印西市笠神 636
連絡先：Tel 0476-97-3426
Fax 0476-97-5133
E-Mail：ponntaku1188@yahoo.co.jp
主な役職：総務企画常任委員会副委員長



この紙面に掲載の文書、写真など無断転載を禁じます。全ての著作権は、印西市議会会派創進に属します。



政務活動費収支明細

使途項目： 広聴費

会派名： 創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
401	平成30年4月18日 /	印西市教育委員会	会議室使用料(5/20使用) /	会場費	1,280
402	平成30年5月7日 /	マイエージェント /	インターネット使用料(WiFi) /	通信運搬費	41,000
403	平成30年5月20日 /	カスミ原山店 /	コピー代 /	資料作成費	1,000
404	平成30年5月20日 /	カスミ原山店 /	お茶、紙コップ /	茶菓子代	786
405	平成30年7月13日 /	印西市教育委員会 /	会議室使用料(8/19使用) /	会場費	600
406	平成30年8月18日 /	市民活動センター	コピー代 /	資料作成費	960
407	平成30年8月19日 /	セブンイレブン	お茶 /	茶菓子代	511
408	平成30年10月16日 /	印西市教育委員会	会議室使用料(11/17使用)	会場費	630
409	平成30年11月16日 /	カスミ原山店	コピー代	資料作成費	305
小計					47,072

政務 活動費収支明細

使途項目： 広聴費

全派名： 創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
410	平成30年11月16日	カスミ原山店	お茶	菓子代	298
411	平成30年12月26日	印西市教育委員会	会議室使用料(2/2使用)	会場費	1,040
412	平成31年2月1日	カスミ原山店	コピー代	資料作成費	200
413	平成31年2月2日	セブンイレブン	お茶、紙コップ	菓子代他	551
					0
					0
					0
					0
小計					2,089
計					49,161

政務活動費事業実施報告書

会派名: 創進
 代表者氏名: 酢崎義行

件名	
4 広聴費	
内容	
1 会場費	3,550 円 /
2 資料作成費	2,465 円 /
3 機材使用料	0 円
4 通信運搬費	41,000 円 /
5 茶菓子代	2,146 円 /
6 振込料	0 円
計	49,161 円 /

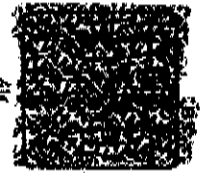
1 会場費	会議室使用料	4回	3,550 円 /
2 資料作成費	コピー代		2,465 円 /
4 通信運搬費	インターネット使用料(WiFi)		41,000 円 /
5 茶菓子代			2,146 円 /
計			49,161 /

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

平成30年 4月18日

市政報告会 (会派創進) 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
4925	H30.05.20(日) 13:00~17:00	中央駅前地域 交流館 会議室1	その他(目的 外使用) 10人	1,280円		30.5.20
注意事項 1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。					使用料合計	1,280円
					下記の金額を領収しました。	
						1,280円
					領収印	
					印西市 出納頁 30.4.18 領収 中央駅前地域交流館	

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No. _____

納付者 株式会社 創道 様 平成 30 年 5 月 7 日

★	4	74	1,000	00
---	---	----	-------	----

但 上記正に領収いたしました

内 訳

取扱金額

消費税額(%)

千葉県成田市中台3-1-1

株式会社 マイエージ

TEL 0476-26-1111

FAX 0476-26-0344

GR1218

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

御 請 求 書

2018年3月30日

印西市市議会会派創進 御中

下記の通り御請求申し上げましたので、何卒宜しくお願い申し上げます。

件名 : Wi-Fiレンタル契約



〒261-0026
千葉県千葉市美浜区幕張西6-26-18
TEL043-205-4930 FAX043-205-4931
担当 :

合計 ¥41,000

受渡期限 : 御打合せの上
受渡場所 : 御打合せの上
支払条件 : 現金振り込み

No	内 容	数量	単位	単価	金額(税抜)
1	Wi-Fi NEXT W04 年間契約	1	式	37,963	37,963
				小計	37,963
				消費税	3,037
				合計	41,000

備 考

お手数ですが、お支払いは、4月27日(金)下記の弊社指定銀行にお振り込み願います。

株式会社マイエージェント



レンタルWi-Fi御契約書

平成30年3月30日

〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2

- ・この度は、マイエージェントをご利用いただきまして、ありがとうございます。
- ・期日までにお手数ですが、弊社指定口座までお振込みくださいますようお願い申し上げます。
- ・本書は、消費税法における仕入税控除に必要な請求書類です。大切に保管いただきますようお願いいたします。
- ・消費税額は、契約開始日現在の消費税率で算出しております。

印西市市議会会派創進 御中

契約開始日	契約満了日	ご利用月数	お問い合わせ先
2018年4月1日	2019年3月31日	12カ月	286-0015 千葉県成田市中台3-1-1-438 TEL0476-26-0381 FAX0476-26-0386
金融機関	口座番号	物件名	型式
千葉銀行 成田西支店 (普)	3503436	Wi-Fi	NEXT W04
回数	お支払期日	お支払金額 (円)	レンタル料 (円)
1	2018年4月27日	41,000	37,963
			消費税 (円)
			3,037

レンタルWi-Fi御契約書に付随する覚書

印西市市議会会派創進(以下、甲と呼ぶ。)と株式会社マイエージェント(以下乙と呼ぶ。)は、平成30年3月30日締結のレンタルWi-Fi御契約書契約書について、上記内容にて双方同意の上、覚書を作成する。

以上を承認した証として、本書面を2通作成し、甲乙署名捺印の上、各々1通を所持する。

甲 住 所 印西市大森2364-2
 会社名 印西市議会会派創進
 役職名 代表
 氏名 佐野義行

乙 住 所 千葉県成田市中台3-1-1-438
 会社名 株式会社マイエージェント
 役職名 代表取締役 飯島 栄
 氏名

以上

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄			

領 収 証

No. 061694

印西市議会 会派 創進 様

平成 30 年 5 月 20 日



但し資料代 (内消費税等×)

上記金額領収致しました。

入金内訳	現金	○
	小切手	
	その他	
カード会社名		
カード番号		

印紙税
納付
済

〒270-1341 千葉県印西市原山3-2
株式会社 カスミ 原山
TEL 0476-40-6637
FAX 0476-46-7811

担当書



領収書
※度ありがとうございます



原山店
TEL. 0476-40-6637

2018年 5月20日(日) 11:54 #000104
6517

05 栄健康 148
05 総務 138
05 ぶつパーカッ 244
05 2回×@22
06 ストロングエンジンカッ 198

小計 / 5点 ¥728
(議決対象) ¥728
消費税 ¥58

合計 ¥786
金 額 ¥10,006
お釣 ¥9,220



※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

支出証明書

1 支払金額

786 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年5月20日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



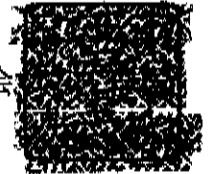
区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	お茶及び紙コップ購入			
理 由	議会報告会			
債 権 者	カスミ			

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

平成30年 7月13日

一般団体 (増田 様) 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
8869	H30.08.19(日) 13:00~17:00	中央駅前地域 交流館 会議室3	その他(目的 外使用) 10人	600円		30.8.19
注意事項 1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。 また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。					使用料合計	600円
					下記の金額を領収しました。	
						600円
					領収印	



領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

セブン-イレブン

印西中央南店
千葉県印西市中央南1-1-2

電話：0476-46-3675 ｼﾞｯ#1

2018年08月19日(日) 12:53 費159

全買 4又 書

ﾌﾞﾘｰﾏﾙ むぎ茶 1.5L
@149x 2 ¥298
7PL 紙ｶｯﾌﾟ 270ml 20個入 ¥213
合 計 ¥511
(内消費税等 ¥37)
お 預 り ¥10,000
お 釣 ¥9,489
お買上明細は上記のとおりです。
商品価格には消費税等を含みます。

領収書

印西市市民活動支援センター

18年08月19日17時36分

【印西市民活動支援センター】
北- 7/知 A4 967円
【お買上】
北- 7/知 A4 960円
【お預り】 960円
【お釣】 1,000円
【印西】 40円

0001-No.0746

LINE 50 ポイント プレゼント!

ドリンク いずれか1本必ずもらえる
を1つと必ずもらえる

対象商品：十六茶 800ml、生茶 525ml、煎茶 800ml

LINE 50 ポイント プレゼント!

キャンペーンの詳細はこちら
<http://www.7-eleven.jp/cmp/line50.html>

※キャンペーンサイトへの接続料及び通信料はお客様のご負担となります。

実施期間：2018年8月10日(金)0:00～8月26日(月)23:59
ポイント有効期限：2018年8月31日(金)23:59まで

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

支出証明書

1 支払金額

2,071 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年8月19日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



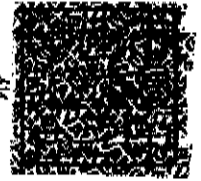
区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	会議室使用料 600円 お茶及び紙コップ 511円 コピー代 960円(8/18)			
理 由	議会報告会			
債 権 者				
	印西市教育委員会			
	セブンイレブン			
	市民活動支援センター			

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

平成30年10月16日

市政報告会 (創進) 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
12902	H30. 11. 17(土) 9:00~12:00	中央駅前地域 交流館 工芸室 2	その他(目的 外使用) 10人	630円		30.11.16
注意事項 1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。					使用料合計 630円	
					下記の金額を領収しました。	
					630円	
					領収印	

領収書等貼付用紙

区 分																																
調査研究費	研修費	広報費	広聴費																													
資料作成費	資料購入費	人件費																														
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄																																
<p style="text-align: center;">カスミ 原山店 千葉県印西市原山3-2 電話：0476-40-6637</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">領 収 証</p> <p style="text-align: center;">2018年11月16日(金) 20:59</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">会派 創造 様</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">白黒かんたんコピー</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">61枚</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">¥305</td> </tr> <tr> <td>A3以外</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"><hr/></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">61枚</td> <td style="text-align: right;">¥305</td> </tr> <tr> <td>(内消費税等 8.00%)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">¥22</td> </tr> </table> <p>但し、コピー代として上記正に領収いたしました。</p> <p><本証取扱い上のお願ひ> 財布・手帳等に入れ保管頂く場合、印刷面を内側に折って保管をお願いします。</p> <p>管理番号： 23002910042010116205938</p>		白黒かんたんコピー	61枚	¥305	A3以外			<hr/>			合計	61枚	¥305	(内消費税等 8.00%)		¥22	<p style="text-align: center;">領収番 毎度ありがとうございます</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">カスミ</p> <p style="text-align: center;">原山店 TEL. 0476-40-6637</p> <p style="text-align: center;">2018年11月16日(金)21:03 #000105 361210とみやま 0337</p> <p style="text-align: center;">05 伊藤園 健康ミネラル麦 276 (2個 x @138)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">小計 / 2点</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">¥276</td> </tr> <tr> <td>(課税対象)</td> <td style="text-align: right;">¥276)</td> </tr> <tr> <td>消費税 8%</td> <td style="text-align: right;">¥22</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr/></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">¥298</td> </tr> <tr> <td>お預り金</td> <td style="text-align: right;">¥1,008</td> </tr> <tr> <td>お釣り</td> <td style="text-align: right;">¥710</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  </div>		小計 / 2点	¥276	(課税対象)	¥276)	消費税 8%	¥22	<hr/>		合計	¥298	お預り金	¥1,008	お釣り	¥710
白黒かんたんコピー	61枚	¥305																														
A3以外																																
<hr/>																																
合計	61枚	¥305																														
(内消費税等 8.00%)		¥22																														
小計 / 2点	¥276																															
(課税対象)	¥276)																															
消費税 8%	¥22																															
<hr/>																																
合計	¥298																															
お預り金	¥1,008																															
お釣り	¥710																															

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

支出証明書

1 支払金額

298 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年11月16日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



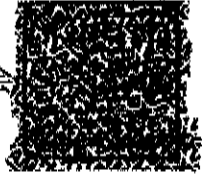
区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	お茶 298円			
理 由	議会報告会			
債 権 者	カスミ			

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

平成30年12月26日

市政報告会 (創進) 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
15798	H31.02.02(土) 13:00~17:00	中央駅前地域 交流館 会議室4	その他(目的 外使用) 10人	1,040円		31.2.02
注意事項 1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。					使用料合計 1,040円	
					下記の金額を領収しました。 1,040円	
					領収印 出納員 2012.26 印西市立中央駅前地域交流館	

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

カスミ
原山店
千葉県印西市原山3-2
電話：0476-40-6637

セブン-イレブン
印西中央南店
千葉県印西市中央南1-1-2

電話：0476-46-3575 ｼｯﾌﾟ#2

2019年02月02日(土) 13:00 責171

領 収 書

領 収 証

2019年02月01日(金) 18:43

会社創造 様

白黒かんたんコピー A3以外	40枚	¥200
合計	40枚	¥200
(内消費税等 8.00%)		¥14

100ml 天然水 2L		
@100x 2		¥200
7PL 紙 カップ* 270ml 20P		¥213
7PL 紙カップ* 270ml 10P		¥138
合 計		¥551
(内消費税等		¥40)
お 預 り		¥1,000
お 釣		¥449

お買上明細は上記のとおりです。
商品価格には消費税等を含みます。

但し、コピー代として上記正に領収いたしました。

<本証取扱い上のお願い>
財布・手帳等に入れ保管頂く場合、印刷面を内側に折って保管をお願いします。

管理番号： 230029100170190201184334

※新しい定期株券 / 株券を複数枚で対象商品(4種)のいずれかを
ご購入 確認お取置き 対象商品のみ後、3ヶ月経過後は取り戻すの方向

300ポイント プレゼント !!

対象商品
BALIA 味麗園 和樂
Preclotis

対象期間: 2019/2/1(金) ~ 2/28(木)

※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

支出証明書

1 支払金額

551 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年2月2日

会派名 創進
代表者名 酢崎 義行



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	お茶及び紙コップ 551円 ✓			
理 由	議会報告会			
債 権 者	セブンイレブン			

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 酢 崎 義 行



件 名	議会報告会
内 容	定例議会終了後に報告会を実施し、議案の説明を行うとともに、参加市民からの質問や意見を受け、市政への提案に反映させた。毎回 20 名前後の参加を得て、市民との自由な意見交換の場となった。
開催日	平成 3 0 年 5 月 2 0 日 13 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 平成 3 0 年 8 月 1 9 日 13 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 平成 3 0 年 1 1 月 1 7 日 9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0 平成 3 1 年 2 月 2 日 13 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
会 場	中央駅前地域交流館 会議室、工芸室
参 加	増田葉子
経 費	8, 1 6 1 円 施設使用料 3, 5 5 0 円 資料作成費 2, 4 6 5 円 お茶、紙コップ 2, 1 4 6 円

3月議会の議案

議案1号 一般旅券収入印紙購入基金条例の制定

今年10月から、中央駅前出張所においてパスポートの発券業務を開始することに伴い、印紙購入代を基金にしておく条例。パスポートの発券は、年6000件、売りさばく印紙代は8,400万円と推計。一か月分の700万円を基金化にする。

議案2号 障がい者サポートセンター設置管理条例の制定

印旛高校跡地に主に精神障がい者を対象とした日中活動、自立訓練、就労支援の場を設置するもの。名称は「ふれあいサポートセンターいんざい」。管理は指定管理者に委託し、今年12月に開所予定。通所事業だけでなく「ひきこもり」の訪問支援も予定している。

議案3号 行革推進委員会設置条例の一部改正

平成30年度の組織改編に伴い、行政管理課が総務課に統合される。行政管理課が所管していた「行革推進委員会」を総務課の所管とする内容。条例改正として現れたのはここだけだが、規則が大幅に改正になり、15年ぶりにライン職の係長、課長補佐が復活した。

議案4号 非常勤特別職の報酬・費用弁償条例の一部改正

農業委員会制度の変更により、農業委員会委員を、農業委員と農地利用最適化推進委員とに分ける。報酬額は変更ない(月額51,000円)。また、固定資産評価審査委員会委員長の報酬を職責に鑑み、月額7,500円を10,000円に引き上げる。

議案5号 国民健康保険条例の一部改正

平成30年度から国民健康保険が千葉県との共同運営となることに伴い、字句等の整理を行うもの。条例そのもの内容が大きく変更されるものではない。

議案6号 国民健康保険税条例の一部改正

議案5号と同じ趣旨。

議案7号 介護保険条例の一部改正

介護保険は3年ごとに事業計画が見直され、平成30年度から介護保険事業第7期計画が始まる。30～32年度の3年間の介護給付量を算定し、量に応じて1号保険料(65歳～)が改定された。保険料は13段階の「応能負担(負担能力に応じて金額が決める)」で、基準額が月額4,700円から4,900円に200円引き上げられる。ちなみに県平均は月額5,200円で、印西市はやや安いほう。

議案 8 号 後期高齢者医療条例の一部改正

国民健康保険法の改正を反映させるもの。国保で行われている「住所地特例」を後期高齢者医療に引き継ぐことが明記された。住所地特例とは、介護施設等への入所により転出した際に、保険給付を前住所で行う特例措置のこと。

議案 9 号 地区計画条例の一部改正

区域内の建築物に一定の制限を設ける地区計画に、新たに宅地開発された地域を加える改正。戸神台・武西学園台区域、印西牧の原駅圏原地区、同南地区など。

議案 10 号 都市公園条例の一部改正

木下交流の杜公園の供用開始で、多目的運動場（サッカー、野球など）の利用料を新たに設定した。一般利用で 2 時間 1080 円。あわせて都市公園法施行令で、運動施設率の上限を条例で定めることとされたため、実態に即して「上限 50%」と条例で定めた。

議案 11 号 市立幼稚園保育料等条例の一部改正

これまで 3 歳児が月額 8,000 円、4、5 歳児は月額 6,000 円だった幼稚園保育料を、5 段階の「応能負担」にする。第 1 階層の無料から第 5 階層の月額 15,000 円まで。保育料は、私立幼稚園の半額になるよう設定された。

大森幼稚園（旧印西市）は「ひかり子ども園」（印西市が土地を無償提供した民設民営の認定こども園）に木下保育園、大森保育園とともに統合され、現在ある公立幼稚園は、もとの幼稚園（旧本埜村）と瀬戸幼稚園（旧印旛村）の 2 園。

議案 12 号 一般会計補正予算（第 6 号）

年度末で執行残の減額補正（歳入の増）が多い。市税と地方交付税がそれぞれ約 2 億円の増収とあわせ、当初予定した基金の取り崩し 5.5 億円と市債の発行 2.6 億円を取りやめ、「余ったお金」を保健福祉基金に 4 億円、教育施設整備基金に 10 億円「預金」する。全体では、障がい者援護費、保育園委託費、児童手当、生活保護医療扶助等の福祉需要の増もあり、約 6 億 8,800 万円の増額補正。

議案 13 号 国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）

実績と今後の見込みにより、2 億 4,754 万円の減額補正。減額したばかりなのに、議会最終日に議案 31 号として、もう一度補正予算が提出され、6,991 万円が増額された。理由は、給付の見込みが増えたという。

議案 14 号 下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）

工事の入札差金などで 3,919 万円の減額補正。

議案 15号 介護保険特別会計補正予算（第4号）

給付実績などにより 335 万円の減額補正。

議案 16号 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

29 度初の補正予算で、基本的には 28 年度の繰越金 246 万円を歳入として計上するもの。加入者の増で、徴収保険料は 4132 万円増、一方で歳出の広域連合への納付金は 3,607 万円増。あわせて 2,924 万円の増額補正。

議案 17号 水道事業会計補正予算（第1号）

国が決められている高料金対策のための繰出し基準が確定したことにより、1,942 万円の補助を一般会計から受ける。

議案 18号 平成 30 年度一般会計予算

予算規模は 338 億 7 千万円。予算編成方針の中では、「厳しい財政状況」で、節減を呼びかけているが、どう見ても堅調（好調）な財政状態。牧の原小学校を整備した平成 26 年度は 345 億円、中央学校給食センターをほぼ単年度で整備した平成 28 年度は 351 億円と、歳出が膨らんだことによる増はあったが、平成 30 年度は、歳入の増による拡大が特徴。市税収入は約 10 億円の増を見込んでいる。

議案 19号 平成 30 年度国民健康保険特別会計予算

県と市の共同運営になったことで、お金の流れが大幅に変わった。国の負担金は県が受けて、市に交付する形になり、全体では、約 10 億円ほど規模が小さくなった。保険税収入は約 21.2 億円、保険給付費（医療機関への医療費の支払い）は 58.1 億円を計上。

議案 20号 平成 30 年度下水道事業特別会計予算

下水道使用料収入は 11.8 億円、一般会計からの繰出し金 2.4 億円などで下水道施設の維持管理（流域下水への負担金支出も）、施設整備が行われる。財政規模は約 16.3 億円。来年度から公営企業会計が適用される予定。

議案 21号 平成 30 年度介護保険特別会計予算

今年度から第 7 期計画（介護保険は 3 年ごとに計画が更新される）が始まり、1 号介護保険料も月額 200 円引き上げとなる。保険料収入は 12.8 億円、全体規模は 50 億円。

議案 22号 平成 30 年度後期高齢者医療特別会計予算

全県的な広域連合が保険者として運営しており、保険料の徴収業務は市が行うものの、滞納率などの数字は市で出していない。保険料収入は 5.7 億円で、特別徴収（年金天引き）は 4 億円、普通徴収（納付書による納付）は 1.7 億円。7 億円を広域連合に上納して、医療機関への支払い

は広域連合が行う。ちなみに保険料が30年度から1.22%引き上げられた。

議案23号 平成30年度水道事業会計予算

市営水道は、給水人口(18,102人)、給水量(1,830,280m³)ともに前年度より微減。収益的収入は7.2億円、支出は7億円、資本的収支は96,741円の赤字。

議案24号 訴えの提起

市制施行20周年記念花火大会の打ち上げ遅延→中止の原因をめぐって市と花火業者に争いがあり、花火業者が起こした委託料支払い請求訴訟に応訴し、市の言い分を主張するために、損害賠償請求訴訟として反訴するもの。損害賠償請求額が警備費や人件費など2千万円。

議案25号 市道路線の変更

北千葉道路の工事に伴い整備された生活道。既存の道路を延長する形で路線変更された。旧印旛村の瀬戸と吉高を結ぶ生活道。

議案26号 市道路線の廃止

上記の路線延長により、廃止された道路。

議案27号 市道路線の認定

牧の原6丁目、4丁目、3丁目、舞姫など57路線、延長計約7kmを新規に認定。

議案28号 地域密着型サービス事業者の指定及び運営基準に関する条例の一部改正

介護保険法や政令の改正を条例におとしたもの。第7期から新たに創設された「介護医療院」(療養型病床を順次転換していく)が位置づけられ、市が指定を行う「地域密着型」介護施設・サービスの基準が改められたが、市が独自に設定したものではない。

議案29号 地域密着型介護予防サービス事業者の指定及び運営基準並びに効果的な支援方法に関する条例の一部改正 28号と同じ。介護予防を行う施設・サービスについての改正。

議案30号 介護予防支援事業者の運営並びに効果的な支援方法に関する基準条例の一部改正

趣旨は28号と同じ。地域包括支援センターの運営基準が改正された。

議案31号 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 議案13号参照。

同意1号 固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価に争いがある場合に審査裁定する委員会の委員1名の新任を同意。

同意2号～12号 農業委員会委員の任命

農業委員の選出が、選挙から市長の推薦→議会同意とになり、11名を同意。議案4号を参照。

6月議会の議案

承認1号 市税条例の一部改正

3/31 に公布された地方税法改正法を新年度から施行するために専決処分された。改正内容は、申告制の法人市民税の延滞金の精算についてと、固定資産税の負担調整措置をまた3年間延長し、不動産取得税の特例を延長する（現状を維持する）内容など。

承認2号 都市計画税条例の一部改正

承認1号と同様に、負担調整措置の延長など改正地方税法を反映させるもの。

承認3号 国民健康保険税条例の一部改正

3/31 に公布された地方税法施行令一部改正令を新年度から施行するために専決処分された。内容は、低所得者の負担軽減策として、対象世帯の判定に用いる所得算定の金額を引き上げるもの。5割軽減となる世帯が30世帯、2割軽減となる世帯が24世帯増加すると推定されている。財源は、国費が一般会計経由で国民健康保険特別会計に繰り入れられる（基盤安定繰入金）。

承認4号 地域密着型サービス事業者の指定基準、人員・設備・運営の基準を定める条例の一部改正

3/22 に介護保険法施行規則の一部改正が公布され、新年度から施行するため専決処分された。改正された内容は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「夜間対応型訪問介護」のサービスで、訪問介護員は、介護福祉士又は介護職員初任者研修課程修了者（旧ヘルパー2級）に限ると明確に規定するもの。その他、条項番号の整合を図る内容。

承認5号 地域密着型介護予防サービス事業者の指定基準、人員・設備・運営・介護予防の効果的な支援方法の基準を定める条例

承認4号と同様の改正理由で、条項番号の整合を図る内容。

議案1号 市税条例の一部改正

承認1号と同じ改正地方税法を反映させたものだが、平成30年10/1～33年10/1に施行される部分。内容は、

- ①給与所得控除と公的年金等控除が基礎控除に振り替えられる（10万円）とともに、給与所得控除と公的年金等控除の対象上限額が引き下げられるなど、非課税枠が拡大された。基礎控除が拡大したことで、事業所得者は減税になるが、影響額は不明。実際に適用されるのは、平成33年度分から。

- ②複数の地方自治体に納税義務のある大規模法人に共通電子納税システム（eLTAX）が導入され、電子申告が義務化された。
- ③固定資産税の、いわゆる「わがまち特例」の特例率を条例で定めることになった。わがまち特例の内容は、小水力発電、地熱発電、バイオマス発電、特定（1000kW/h以上）のソーラー発電、小風力発電。
- ④たばこ税率が3年かけて段階的に引き上げとなり、一本あたり3円の増税となる。また、加熱式たばこの課税方式が見直され、5年かけて段階的に引き上げられる。

議案2号 学童クラブの設置管理条例の一部改正

現在21ある学童クラブは、指定管理者制度が導入されて以降（平成18年頃）に新たに建設された（建て替えられた）5クラブが指定管理者制度を導入している。残りの16クラブは直営だったが、今回の改正で、すべてのクラブに指定管理者が導入される。事業者は中学校区エリアごとに募集され、すべて移行するのは平成35年となる。今年度は、木刈中学校区と印西中学校区が公募される。

議案3号 放課後児童健全育成事業の設備運営基準条例の一部改正

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）の支援員（指導員）の資格を明確化する内容。教員免許が更新制となっていることから、未更新の者は支援員になれないこと、また、高卒以上となっていたものを、実務経験5年以上で中卒も認めることとなった。

議案4号 家庭的保育事業等の設備運営基準条例の一部改正

家庭的保育事業には、「小規模保育」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」「事業所内保育」があり、給食の提供を法人外にも業務委託できるようにするなど、新規参入を促す内容。

議案5号 一般会計補正予算（1号）

山田平賀線の舗装改修（1億円）、木下保育園解体費（1億1,646万円）、大森幼稚園の解体費（1億1,722万円）など、あわせて3億2,971万円の増額補正。木下保育園、大森幼稚園の解体費用の地方債も新規で追加された。木下保育園、大森幼稚園とも外壁にアスベストが含まれていることが判明し、特別の処理を要するため、事業費も膨らんだ。

議案6号 介護保険特別会計補正予算（1号）

介護保険の制度改正にあわせたシステム改修費として53万円の増額補正。

議案7号 財産の取得

UR都市機構の事務所跡地7,621㎡を5億2,737万円で、千葉県企業土地管理局とURから購入する。健康福祉分野で活用することは決まっているものの、具体的計画がまだ策定さ

れていないため、「普通財産」として購入した。UR側が、今年度ですべての土地処分を終わらせる方針で、6月中に国に処分状況を報告する必要があるため、契約を急がされた。

議案 8 号 財産の取得

職員の業務用パソコンと市民開放用パソコン 440 台の更新で、5,505 万円で柏市の日興通信（株）から購入。落札率は 39.9%で、前回更新からは 8 年が経っている。

議案 9 号 財産の購入

消防団の小型ポンプ車 3 台を、2,640 万円で千葉市中央区の（株）清水商会から購入。古新田、山田、萩原の 3 地区に配備される。廃車となる旧車は 21～22 年経過している。落札率は 92.3%

議案 10 号 財産の取得

教職員用パソコン 623 台とネットワーク周辺機器等一式を、1 億 6,200 万円で千葉市中央区の大崎コンピュータエンジニアリングから購入。落札率は 92.1%

議案 11 号 工事請負契約の締結

中央駅南コミュニティセンター、通称・サザンプラザの大規模改修工事で、1 億 7,496 万円で柏市の広島建設（株）と契約。内容は外壁、防水補修のほか、内壁、天井、床などの内部補修、空調設備がガスから電気に変更される工事も行われる。落札率は 89.4%。低入札の調査基準を超えていたため、関係者からの聴取が行われた。

議案 12 号 工事請負契約の締結

原小学校にプレハブ校舎（普通教室 6 教室分）を増築。小倉台小学校に続いて、急激な児童増に対応したもの。1 億 4,364 万円で横芝光町の古谷建設（株）と契約。落札率は 76.35%で、低入札調査の基準を超えていたため、再聴取となった。小倉台小学校は、12 住区小学校が整備されなかったという事情があった。原小はニュータウン計画の中で造られ、もともとの学区はニュータウン区域だけだったが、計画を超えた児童数になっている現状から、ニュータウン区域外から通う児童が増えているといえる。

議案 13 号 介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令の改正に伴い条項番号の整合を図る改正。施行令の改正内容は、高額介護サービス費の算定で、前年に土地の贈与などで一時的な所得の増加があったとき、算定額に影響が出ないようにするもの。高額介護サービスは、介護サービス費用の負担が、月に一定の額以上になったときに申請により償還される制度で、世帯内で複数人が介護サービスを利用している場合などで利用されている。まもなく介護サービスの負担が現役並み所得の人

は3割になるので、今後は念頭におくべき制度。

報告1号 継続費繰越計算書の報告

「継続費」が設定されている事業で、前年度から繰越処理されていた事業について、確かに繰り越されているという報告。繰り越された事情は、障がい者サポートセンター整備事業。

報告2号 繰越明許費繰越計算書の報告

「繰越明許」とは、執行できなかつた財源を1年限り繰り越すことができる制度で、前年度に補正予算で繰越明許にして、翌年度、確かに繰り越されているという報告。繰り越されていた事業は、市民農場整備事業や市道26号先線（松崎工業団地～県道）など。

報告3号 公用車の交通事故の損害賠償

職員が運転する公用車が電柱に接触する（居眠り）事故を起こし、電柱の補修費98,494円を支払うもの。車両の修繕費は422,812円。

報告4号 公用車の交通時の損害賠償

市内小学校の教職員が印西クリーンセンターから出る際に停車中の車両に接触したもの。相手方の修繕費は11,340円。

報告5号 市道の瑕疵による通行車両損傷の損害賠償

笠神地区で路肩に落ちて損傷した車両の修繕費176,400円。

報告6号 市道の瑕疵による通行車両損傷の損害賠償

荒野地区の市道の側溝グレーチングによる通行車両の損傷。修繕費211,000円。

報告7号 市道の瑕疵により転倒した歩行者の損害賠償

原山地区で盛り上がったマンホールにつまずいて転倒、負傷した歩行者の治療費。25,787円。

同意1号

新任の監査委員（公認会計士）1名の同意。

同意2号3号

再任の人権擁護委員2名の同意。

請願

地域猫活動における飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成制度に関する請願（採択）

平成 30 年 9 月定例会の議案

議案 1 号 「指定居宅介護支援等事業の人員及び運営基準を定める条例」の制定

介護保険法等の改正で、居宅介護支援事業所（ケアマネージャーが常勤してケアプラン作成等の支援を行う事業所）の指定権限が県から市に移譲されたことに伴い、条例で運営基準等を定めるもの。施行は 10/1。指定権限が委譲されるとともに事業監査も市の役割となるが、人材増強、育成、監査基準の策定など、監査の体制づくりはほとんどこれから。ケアマネージャーの資質によって、介護生活はかなり左右される。介護保険の要といえるケアマネージャーの資質向上に市が責任を負うことになり、責任重大な条例制定である。

議案 2 号 「景観条例」の制定

長い長い検討の時間をもってようやく条例制定となった。国道 464 号沿いに大型物販施設が進出しはじめ、大型の広告看板が目立つようになった 10 年ほど前から、景観に対する意識が高まり検討が始まった。屋外広告物の規制強化などで対応しつつ、平成 26 年度に景観法に基づく「景観行政団体」となって、県にかわって良好な景観づくりの役割を市が担うようになった。今年 3 月には「景観計画」を策定し、少し遅れて条例の制定、10/1 からの施行となる。

条例では、市民、事業者、市それぞれの責務を定め、届出や事前協議、指導・勧告に従わない場合の氏名公表などが規定されている。「景観重要建造物」「景観重要樹木」「景観まちづくり重点地区」など景観計画と連動した施策や、はじめてメガソーラー施設の届けも義務化された。

議案 3 号 「市議会議員及び市長選挙の公費負担に関する条例」の一部改正

公職選挙法の改正で、市長選挙に引き続き市議会議員選挙でもビラの配布が可能になり、作成費が公費負担となる。来春の統一地方選挙に適用される。公職選挙法ではこれまで、公示後の文書図画は選挙はがきとポスター、たすきと街宣車の看板のみが通常認められていた（つまり、もしもビラが配布されていたとしたら、それは違反

ピラ)。枚数は印西市の場合、法で 4000 枚が上限と規定されているので、選管から証紙を規定枚数もらい、それを貼って配布することになる。証紙のないピラは違反ピラとなる。

議案 4 号 一般会計補正予算（2号）

9月定例会には、予算編成時（年末ころ）に盛られた人件費が現員現給にあわせて補正される。職員数は7人減り、給与手当で6,581万円、共済費をあわせると1億523万円の減となっている。さらに、またまた想定を上回る増収で、市税収入を8億4,683万円増額で、予定されていた基金の取崩しをやめても、人口10万人達成記念イベントの経費や、児童増による児童手当の増額、カーボン排出削減計画の策定委託、西の原中学校体育館の改修費を盛り込んでいる。

議案 5 号 国民健康保険特別会計補正予算（1号）

前年度の繰越金補正分6,644万円を入れ、一般療養給付の減とあわせて基金に積み立てる補正予算。

議案 6 号 下水道事業特別会計補正予算（1号）

前年度の繰越金補正分9,987万円を入れ、基金に積み立てる補正予算。下水道会計は人件費を入れており、現員現給の影響額は共済費あわせて365万円の増。

議案 7 号 介護保険特別会計補正予算（2号）

前年度の繰越金や国庫補助金、支払基金交付金の精算分で、2億7,440万円の増を基金に積み立てる。

議案 8 号 財産の取得

小学校1年生の児童用机・椅子1,200組を1,101万円で白井市の株式会社ハタヤから購入する。毎年1学年分ずつ老朽化した机・椅子を入れ替えていく9か年計画で、今回は4年目。昨年、脚部の形状や調節ネジの向きなどの仕様を緩和したところ、購入額は半分以下になった。単価だと、27年度20,100円、28年度19,800円、29年度8,800円、今年は8,500円となっている。

議案 9 号 指定管理者の指定

印旛高校跡地に来年度から開所する障がい者施設「ふれあいサポートセンターいんざい」の指定管理者を、社会福祉法人印旛福祉会に指定するもの。この施設は、精神障がい者の親の会からの長年にわたる要望が発端になっており、主に精神障がいの方の日中施設、自立訓練、就労支援施設というコンセプトだった。公募の上、応募してきた2者から選定されたので致し方ないが、精神障がい者の支援にあまり実績のない法人（知的障がい者の支援には多大なる実績がある）となり少々不安が残る。

認定 1 号～6 号 平成 29 年度決算認定

一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の6会計

類似団体（類団）との比較表

歳入	類団平均値	印西市			類団平均値との差
		27	28	29	
市民税	117,083	181,843	185,685	200,780	83,697
地方交付税	142,465	28,330	20,571	16,181	-126,284
国県支出金	129,554	58,755	56,589	60,558	-68,996
地方債	51,481	0	19,110	3,895	-47,586
歳入計	554,618	351,892	375,399	361,163	-193,455
歳出					
人件費	72,299	60,421	58,893	58,513	-13,786
扶助費	87,648	58,768	63,747	69,381	-18,267
経常経費計	384,153	265,190	263,283	275,629	-108,524
普通建設	92,247	57,828	72,587	43,622	-48,625
うち補助	56,043	15,620	7,017	14,193	-41,850
うち単独	37,204	42,208	65,570	29,429	-7,775
歳出計	521,534	326,936	350,914	338,607	-182,927

報告1号 継続費精算報告書

継続費が組まれていた木刈小学校の改修工事と小倉台小学校の増築工事の精算報告。

報告2号 平成29年度健全化判断比率、資金不足比率の報告

地方公共団体財政健全化法の規定される財政指標が議会に報告され公表される。財政健全化判断比率は、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4指標があり、印西市はまったく問題なし。

資金不足比率は水道事業会計と下水道事業特別会計について経営状況の指標として報告される。

報告3号 専決処分の報告

県道に接続するT字路(下井)のガードレールが折れ曲がって突き出していた箇所に通行車両が接触して車体が傷ついた事故の和解金支出の報告。過失割合は市が1割。

報告4号 専決処分の報告

香西新田の市道に空いた穴に通行車両がはまり、タイヤとホイールを破損した事故の和解金支出の報告。車体が特注品であったため、40万円以上になった。過失割合は市が10割。

報告5号 専決処分の報告

牧の原1丁目の市道を夜間に通行していた車両が、垂れ下がった街路樹の枝に衝突し車体が破損した事故の和解金支出の報告。

同意1号 教育委員(新任)の任命の同意

同意2号 固定資産評価審査委員の選任の同意

平成 30 年 12 月定例会 議案の概要

議案1号 国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の税額の上限は、地方税法施行令で「基礎課税額の限度額」として定められており、その限度額が引き上げられたことによる改定。国民健康保険税のうち医療分の上限額を 54 万円から 58 万円に引き上げる。対象となる世帯は、当初予算時の推計で 265 世帯、世帯人員にもよるが、世帯収入が 800 万円～950 万円程度。

国民健康保険は今年度から千葉県との共同運営になっており、県は基準税額を示し、財政運営を担っている。共同運営といっても、税額の決定や賦課徴収、低所得者対策などは市で担っている。

議案2号 市立小学校設置条例の一部改正

小学校の小規模化により宗像小学校がいには野小学校に統合され、本埜第一小学校と本埜第二小学校が統合されて本埜小学校を設置するもの。

平成 28 年 10 月に出された「学校適正規模・適正配置基本方針」では、本埜第一小学校は滝野小学校へ、本埜第二小学校は小林北小学校へ、それぞれ統合する案が提示されていたが、地域住民の運動によって、新たに「本埜小学校」が設置されることになった。

宗像小についても、約 2 年間の地元との話し合いの結果、統合案が了承された形になった。基本方針で統合案が示されているのは、あとは船穂小学校の高花小学校への統合と本埜中学校の閉校がある。基本方針案の通りだと 2 小学校の閉校によって自動的に閉校になるところだったが、本埜小の誕生によってこれから再検討となる。

基本方針は、小規模化の問題だけではなく、小倉台小学校、原小学校の大規模化問題についても検討され、隣接小学校との自由学区（選択学区）や校舎の増築で対応することとなっている。

議案3号 一般会計補正予算(第3号)

障がい者福祉給付費で約 2 億円、乳幼児増による予防接種料 1,955 万円、高校生医療費助成 1,200 万円、私立幼稚園への補助 2,722 万円、小中学校の施設改修費約 2,000 万円などで、あわせて 3 億 195 万円を追加する増額補正。

年度をまたがる債務負担行為として、元号改定にかかわる経費 約 90 万円、温暖化で開花時期が早まっている桜の花見警備の経費 約 400 万円、小倉台第三学童クラブの設計費 921 万円などが盛り込まれている。

議案4号 下水道事業特別会計補正予算(第2号)

今年度の国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の配分が内示され、要望額から 1,600 万円減額され、不足額は基金を取り崩すという補正。減額の理由はわからず、全体配分の結果

との説明で、千葉県全体でも 80%の内示、とくに印西市は少なく 70%だった。

議案5号 介護保険特別会計補正予算(第3号)

介護認定調査にあたっている任期付職員 1 名が病欠となり、業務委託により対応する委託料 86.4 万円を補正するもの。

議案6号 指定管理者の指定

木下学童クラブの指定管理者をNPO法人ワーカーズコープに3年間「再指定」するもの。3年間の指定管理料は、3,305 万円。

同法人は平成 25 年度に六合学童クラブ、27 年度に牧の原学童クラブの指定管理者となっている実績がある。平成 28 年度から 30 年度まですでに木下学童クラブの指定管理者であり、この間のモニタリング結果が良好であったため、今回は公募は行われず、「再指定」の手続きで指定された。

木下学童クラブの定員は 45 人、現在は 3 人超過して 48 人を受け入れている。さらに待機が 13 人いる状況。特別に支援が必要な子どもも 6 人通所している。

議案7号 給与条例の一部改正

人事院及び県人事委員会の勧告により、職員の給料月額、宿日直手当、勤勉手当の支給月額が引き上げられる。勤勉手当は賞与にあたる手当で、期末手当とあわせて 4.4 カ月が 4.45 カ月になる。勤勉手当の部分は、基準月数から勤務状況に応じた査定で差が設けられている。基準月額は、給料+扶養手当+地域手当(物価手当)となっている。

宿日直手当は一回 4,200 円が 4,400 円に引き上げられ、通勤手当に上限額が設けられた。この改正で、給料、手当、共済費をあわせて影響額は 2,500 万円。

発委1号 議会委員会条例の一部改正(議会運営委員会提出)

本会議場の傍聴規則はあったが、委員会室の傍聴規則が存在しなかったため、新たに委員会傍聴規則を議長が定めることを規定するもの。

陳情「印西市職員の市内居住を促進させる対策」(不採択)

大規模災害などの非常時に対応するため、職員の市内居住を促進させるよう「住居手当」(借家のみで月額 27,000 円)に、市内居住と市外居住で差をつけてはどうかという趣旨の陳情。印西市の給与条例を準拠している印西地区消防組合の住居手当の支給方法に改善を求めたものであると認識するが、議論はほとんど行われないうまま不採択だった。

ちなみに現在、住居手当は 92 人に支給されており、市内在住が 34 人、市外 58 人で市内居住率は 37%だった。持ち家も含め職員全体では 58.2%が市内に居住している。

政務活動費収支明細

使途項目：資料作成費


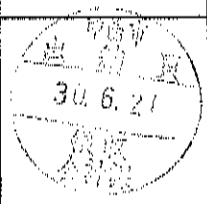
会派名：創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
501	平成30年6月21日	印西市	コピー代	印刷製本費	900
502	平成30年9月27日	印西市	コピー代	印刷製本費	460
503	平成30年11月23日	カインズ	コピー用紙、事務用品	消耗品	1,994
504	平成30年12月3日	ジョイフル本田	インクカートリッジ、事務用品	消耗品	3,206
505	平成30年12月21日	印西市	コピー代	印刷製本費	60
					0
					0
					0
					0
計					6,620

領収書等貼付用紙

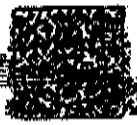

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

納入通知書兼領収書

住 所	印西市大森 2364-2				
氏 名	会社 創造 代表 酢崎義行 様				
年 度	所 属				
30	議会事務局				
会 計	款	項	目	節	細 節
01	20	5	2	2	5
金 額	900 円				
件 名	政務活動費コピー代 (H30 5月分)				
納入期限	30年 6月 29日				
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関				
上記のとおり納入してください。					
30年 6月 20日					
印西市長 					
上記のとおり領収しました。				領 収 済 印	
					
収 納 金 融 機 関 名					

(納入者保管)

納入通知書兼領収書

住 所	千葉県印西市大森2364の2				
氏 名	会社 創造 代表 酢崎義行 様				
年 度	所 属				
30	議会事務局				
会 計	款	項	目	節	細 節
01	20	5	2	2	5
金 額	460 円				
件 名	政務活動費コピー使用料 (H30 7.9月分)				
納入期限	年 月 日				
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関				
上記のとおり納入してください。					
30年 9月 26日					
印西市長 板倉正直 					
上記のとおり領収しました。				領 収 済 印	
					
収 納 金 融 機 関 名					

(納入者保管)

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄			

領 収 証

No. S 139617

2018年11月3日

会派創造 様

金額 7,3206

上記金額領収致しました。(内消費税等 39円)
但しお品代として

内 訳	現金	
	クレジットカード	7,3206

印紙税 12.134



株式会社

本社 茨城県土浦市富士崎一丁目16番2号 TEL 029(82)

- HC 茨城 店 TEL 029(841)2211(代)
- HC 八千代 店 TEL 047(482)5311(代)
- HC 古河 店 TEL 0280(98)2531(代)
- HC 宇都宮 店 TEL 0480(43)3111(代)
- HC 市原 店 TEL 0436(43)7111(代)
- HC 富津 店 TEL 0439(55)0111(代)
- HC 千代田 店 TEL 043(251)1138(代)
- HC 守谷 店 TEL 0297(48)8020(代)
- HC 聖 店 TEL
- HC 水戸 店 TEL
- HC 新 店 TEL
- HC 千葉ニュータウン 店 TEL 0476(47)6811(代)
- HC 宇都宮 店 TEL 0285(57)2111(代)
- HC 船橋 店 TEL 042(568)2311(代)
- HC 千代田 店 TEL 0276(55)0700(代)

印紙税申告納
付につき土浦
税務署承認済

担当者



事務用品
170-1107

領 収 証

No. 500696

会派創造 様

金額 1,994

内. 消費税等 7.1447

内 訳	
現金	
クレ	✓

但しお品代として
上記の金額正に領収いたしました 平成30年11月23日

株式会社 カインズ

(本社)
埼玉県本庄市早稲田の杜一丁目2番1号

(取扱店)
カインズホーム
千葉ニュータウン店
TEL 0476-48-8888

扱 者



※複数の

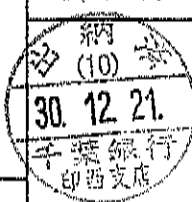
コピー用紙
他事務用品

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納入通知書兼領収書

住所	印西市大森 2364-2				
氏名	会米創造代表 西崎義行 様				
年度	所 属				
30	議会事務局				
会計	款	項	目	節	細節
01	20	5	2	2	5
金額	60 円				
件名	政務活動費 コピー使用料 (1730.10 ~12)				
納入期限	年 月 日				
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関				
上記のとおり納入してください。					
30 年 12 月 21 日					
印西市長 坂倉正直					
上記のとおり領収しました。				領収済印	
					
※ 収納金融機関名					

さい。

(納入者保管)

政務活動費収支明細

使途項目： 資料購入費

金派名： 創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
601	平成30年6月18日 /	NPO法人しんぐるまざあ ず・ふぉーらむ	書籍代 シングルマザー365日サポ ートブック	参考図書代	800
602	平成30年6月18日 /	NPO法人しんぐるまざあ ず・ふぉーらむ	書籍代 教育費サポートブック	参考図書代	500
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
計					1,300

政務活動費事業実施報告書

会派名: 創進

代表者氏名: 酢崎義行



件名	
6 資料購入費	
内容	
1 新聞雑誌等購読料	0 円
2 参考図書代	1,300 円 /
3 有料データベース等利用料	0 円
4 送料	0 円
5 振込料	0 円
計	1,300 円 /
2 参考図書代	1,300 円

領収書等貼付用紙

区 分			
調査研究費	研修費	広報費	広聴費
資料作成費	資料購入費	人件費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No. _____

2018年 6月18日

印西市議会 会派 倉川 進様

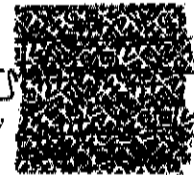
¥ 1,300

但 教育費サポートプログラム 365日サポートプログラム代金

上記正に領収いたしました

内 訳	
現金	
小切手	/
手 形	/
消費税額 (9%)	

特定非営利活動法人
 しんぐるまざあず・ふぉーらむ
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-28 日ビル



※複数の領収書等を張る場合は、重ならないように添付してください。

資料購入費報告書

使途項目: 資料購入費

会派名: 創進

領収書番号	支出年月日	支出の相手方	支出内容	支出目的	支出額(円)
	平成30年6月18日	NPO法人 しんぐるまざあ ず・ふぉーらむ	シングルマザー365日サポートブック	市民からの相談に対応するため	800
	平成30年6月18日	NPO法人 しんぐるまざあ ず・ふぉーらむ	教育費サポートブック	市民からの相談に対応するため	500
計					1,300

Single mothers' Smile Support Book

シングルマザー 365日サポートブック

NPO 法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ 編集



● 赤石千衣子 ● 坂野真理 ● 中川知世 ● 福井万里 ほか 著
しんぐるまざあず・ふぉーらむ 編著 ● 監修：山崎 新



9784990927707

ISBN 978-4-9909277-0-7

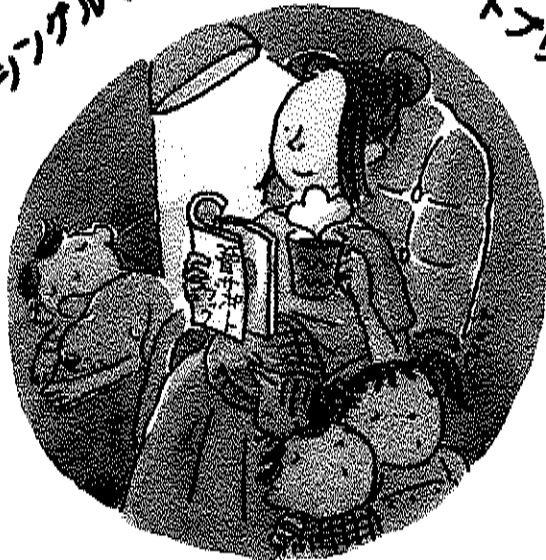
C0030 ¥800E

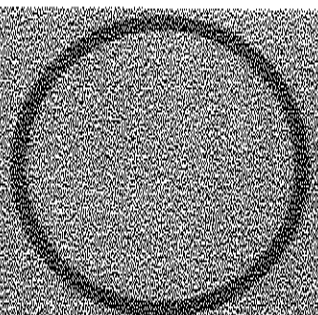


1920030008007

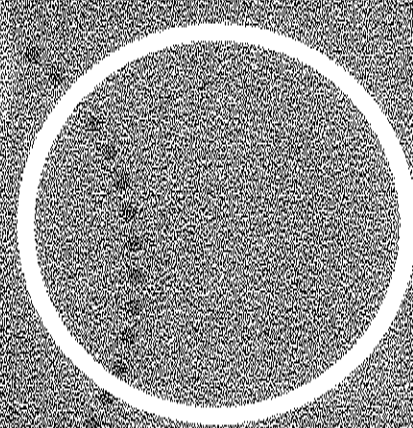
定価：本体 800 円 + 税 /

シングルマザー 365日 サポートブック





教育費
サポート
ブック
〈2018年版〉



発行日：2016年2月1日

発行：特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-28 日下ビル4階
TEL / FAX: 03-3263-1519 Email: info@single-mama.com
郵便番号 00170-5-152791
三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店(457) (普通) 4536336

特別協力：特定非営利活動法人キッズドア

独立行政法人福祉医療機構助成事業のリニューアル増収版

〈執筆〉

なかしまともみ (CFP®1級、ファイナンシャル・プランニング技能士)

赤石千衣子 (しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長)

安藤ゆか (しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事)

〈イラスト〉いとうまりこ

〈編集〉岡本美栄

〈デザイン〉東京100ミリアルスタジオ

定価 500円(税込)

●この冊子は東京スター銀行の協力を得て作成いたしました。